

特279

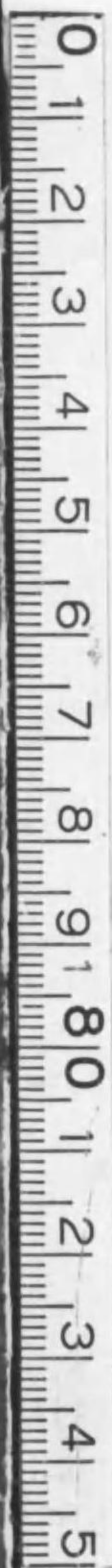
277

明治二十八年自七月分

現行
滋賀縣令達全書

福島刷工場印行

始



謹告

● 現 滋 賀 縣 令 達 全 書 自明治廿九年十月 壹册
至全 年十二月

右目下印刷中ニ付不日發行仕候

● 現 滋 賀 縣 令 達 全 書 自明治廿八年一月 壹册
至全 年六月

● 現 滋 賀 縣 令 達 全 書 自明治三十年一月 壹册
至全 年二月

右何レモ近日中ニ印刷發行可仕候

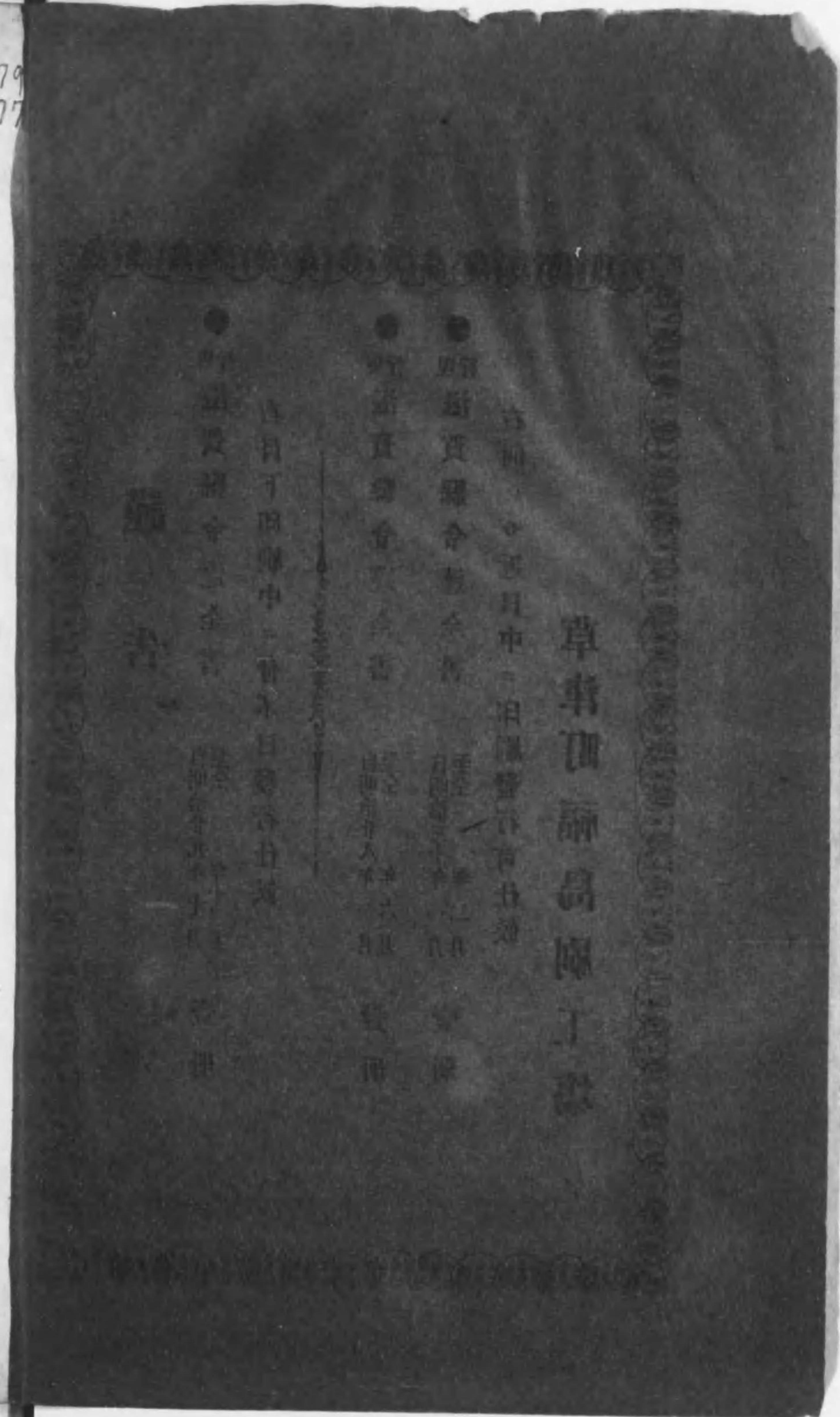
草津町福島刷工場

特279
277



第二十五號	度量衡器取締規則中改正	(七)	七
第二十六號	吐瀉病患者屆出方	(七)	七
第二十七號	吐瀉病患者移轉屆出方ノ件	(七)	七
第二十八號	百斯土豫防規則	(七)	七
第二十九號	獸乳營業規則中改正	(七)	七
第三十號	本縣小學校規則中改正	(七)	七
第三十一號	明治二十八年度地方稅地租割戶數割追加課率	(八)	八
第三十二號	社寺境内民有地使用等取扱方ノ件	(八)	八
第三十三號	吐瀉病患者ノ排泄物ヲ湖川溝渠ニ投棄方等禁止	(八)	八
第三十四號	古物商取締法及同細則施行規則	(八)	八
第三十五號	質屋取締法及同細則施行規則	(八)	八
第三十六號	明治二十八年度地方稅地租割戶數割追加課率	(九)	九
第三十七號	特獵ニ關スル願屆手續中改正	(九)	九
第三十八號	威銃免許取締規則中改正	(九)	九
第三十九號	質屋取締法及同細則施行規則中改正	(一〇)	一〇
第四十號	朝鮮國渡航願ニ關スル件	(一〇)	一〇
第四十一號	徵兵規程中改正	(一一)	一一
第四十二號	本縣令第二十六號同第二十七號及同第三十三號廢止	(一一)	一一
第四十三號	農會準則	(一二)	一二
第四十四號	明治二十八年地方稅戶數割追加課率	(一二)	一二
第四十五號	民林取締規則中保護係適用方	(一二)	一二

明治二十八年後半期 縣令 目錄



第四十六號 地方稅土木工費支辨規則中改正
第四十七號 地租ニ關スル願届書式中更定

(三) 三
(三) 五

第四十號 諸學校生徒端艇競漕會保護方ノ件 (省略) (七)
 第四十一號 本縣臨時縣會開會 (同) (七)
 第四十二號 臨時縣會付議事件中削除 (同) (七)
 第四十三號 本縣臨時縣會閉場 (同) (七)
 第四十四號 草津收稅署移轉ノ件 (同) (七)
 第四十五號 大阪大林區移轉通知 (同) (七)
 第四十六號 常置委員會開設 (省略) (八)
 第四十七號 明治二十八年度地方稅歲入出豫算追加全歲出豫算更正等ノ件 (省略) (八)
 第四十八號 電氣鐵道布設地測量認可ノ件 (省略) (八)
 第四十九號 常置委員會閉會 (同) (八)
 第五十號 本縣會議員補闕當撰就職ノ件 (同) (八)
 第五十一號 大津大隊區徵兵參事員補闕撰舉期日等ノ件 (同) (八)
 第五十二號 陸軍召集旅費支給場所及區域中改正 (同) (八)
 第五十三號 御救恤金下賜ノ件 (省略) (八)
 第五十四號 常置委員會開設 (省略) (八)
 第五十五號 常置委員會閉場 (同) (八)
 第五十六號 明治二十八年度地方稅歲入歲出豫算追加 (省略) (八)
 第五十七號 第四回內國勸業博覽會本縣事務所閉鎖 (省略) (九)
 第五十八號 陸軍士官候補生志願書等ノ件 (同) (九)
 第五十九號 蘆種檢査所設置 (同) (一〇)
 第六十號 屯田兵志願者願書差方期日ノ件 (同) (一〇)

第六十一號 縣立大津及長濱避病院廢止

第六十二號 衆議院議員選舉長更迭

第六十三號 大津大隊區徵兵參事員當撰

第六十四號 檢疫所廢止

第六十五號 普通水利組合設置

第六十六號 第三回臨時縣會開設

第六十七號 水口區裁判所土山出張所移轉

第六十八號 看守採用試驗細則中改正

第六十九號 高島郡小學校檢閱施行

第七十號 第三回臨時縣會閉會

第七十一號 本年通常縣會開會

第七十二號 小學校教員乙種檢定施行

第七十三號 長濱收稅署移轉

第七十四號 蠶種檢査所移轉

第七十五號 明治二十八、九兩年度地方稅土木費中支出豫算

第七十六號 災害土木費借入及償還方法

第七十七號 明治二十八年度地方稅歲入歳出豫算更正等追加

第七十八號 近江鐵道布設地測量出願認可

第七十九號 蠶種檢査所閉鎖

第六十一號

(省略)

(一〇)

|

第六十二號

(省略)

(一〇)

|

第六十三號

(同)

(一〇)

|

第六十四號

(同)

(一〇)

|

第六十五號

(同)

(一〇)

|

第六十六號

(同)

(一〇)

|

第六十七號

(同)

(一〇)

|

第六十八號

(同)

(一〇)

|

第六十九號

(同)

(一〇)

|

第七十號

(同)

(一〇)

|

第七十一號

(同)

(一〇)

|

第七十二號

(同)

(一〇)

|

第七十三號

(同)

(一〇)

|

第七十四號

(同)

(一〇)

|

第七十五號

(同)

(一〇)

|

第七十六號

(同)

(一〇)

|

第七十七號

(同)

(一〇)

|

第七十八號

(同)

(一〇)

|

第七十九號

(同)

(一〇)

|

第四號 流行病豫防上注意方等ノ件

第五號 衛生上注意方ニ關スル件

第六號 攝生上注意ニ關スル件

第七號 虎列刺及赤痢病消毒法等施行上ニ關スル件

(七)
(八)
(九)
(二)

一一
三
四

第三十七號	吐瀉病患者通報等ノ件	(七)	(七)
第三十八號	吐瀉病患者移轉通報方等ノ件	(七)	(七)
第三十九號	吐瀉病患者身元貧困ノモノ治療方等ノ件	(七)	(七)
第四十號	交通遮斷中回診方	(七)	(七)
第四十一號	賄費給與停止	(八)	(八)
第四十二號	諸貸付金報告手續	(九)	(九)
第四十三號	華族送入籍報告方	(一〇)	(一〇)
第四十四號	檢疫所職務規程廢止	(一〇)	(一〇)
第四十五號	本縣徵兵事務取扱手續中改正	(一一)	(一一)
第四十六號	國民兵召集事務細則	(一一)	(一一)
第四十七號	學事年報取調條項及諸表樣式改正	(一一)	(一一)
第四十八號	學事年報取調條項及諸表樣式改正	(一一)	(一一)
第四十九號	虎列刺及赤痢病消毒の清潔法施行上ニ關スル件	(一一)	(一一)
第五十號	臨時檢疫ニ關スル殘務取扱方	(一一)	(一一)
第五十一號	天然痘豫防上ニ關スル件	(一一)	(一一)
第五十二號	警察處務細則中改正	(一一)	(一一)
第五十三號	學事年報諸表樣式中追加	(一一)	(一一)
第五十四號	巡查勤務並監督規程中改正	(一一)	(一一)

(廢止)

(廢止)

○滋賀縣令第二十五號
明治二十六年^ニ本縣令第二十二號度量衡器取締規則第五條第二項「第四十四條」トアルヲ「第四十五條」ニ改ム
滋賀縣知事 大 越 亨

(參照) 滋賀縣令第二十二號度量衡器取締規則(明治二十六年二月六日公報)抄録
第五條第二項 度量衡法施行規則第四十四條ノ屆書ハ秤秤ノ物質記號番號使用者ノ職業住所氏名及其差狂アリト認ムル廉ヲ記載シ知事ニ差出スヘシ

○滋賀縣令第二十八號
明治十三年第三十四號布告傳染病豫防規則第一條但書ニ依リ百斯土豫防規則左ノ通之ヲ定ム
明治二十八年七月十三日
滋賀縣知事 大 越 亨

百斯土豫防規則
第一條 醫師百斯土(黒死病)患者若クハ疑似ノ患者ヲ診察シ又ハ其死体ヲ檢案シタルトキハ直チニ其地所轄町村長又ハ警察署分署又ハ町村役場ニ届出ヘシ便宜巡查駐在所ニ報告スルモ妨ナシ患者治癒又ハ死亡シタルトキ亦同シ
第二條 百斯土患者若クハ疑似ノ患者ハ掛吏員ノ指揮ヲ受ケ直ニ避病院又ハ隔離室ニ移スヘシ
第三條 百斯土患者若クハ疑似患者又ハ其死体ハ掛吏員ノ指揮アルニ非ヤレハ他ニ移轉スルコトヲ得ス
第四條 死体ハ掛吏員ノ指揮ヲ受ケ火葬スヘシ若シ火葬シ能ハサル事由アルトキハ消毒法ヲ行ヒ一丈余ノ地下ニ埋葬スルコトヲ得
第五條 死体ハ地域ヲ劃シ埋葬スヘシ且他ニ改葬スルヲ許サス但火葬ノ遺骨ハ此限ニアラス
第六條 衣服、臥具、器具其他患者ニ觸接シ又ハ近接シタル物品ハ掛吏員ノ指揮ヲ受ケ消毒法ヲ



行フヘシ其消毒ヲ行ヒタル後ニアラサレハ使用又ハ他ニ移轉スルコトヲ得ス但消毒ノ効ヲ奏スルヲ得サルモノト認ムルトキハ之ヲ燒棄セシムルコトアルヘシ

第七條 患者アリタル家屋ハ交通ヲ遮斷シ其患者ヲ避病院又ハ隔離室ニ移スカ又ハ死体ヲ埋火葬シタル時ヨリ起算シ尙九日間之ヲ繼續ス若シ一家ノ遮斷ヲ以テ防遏シ能ハサルモノト認ムルトキハ其町村ノ一部若クハ全部ヲ遮斷スルコトアルヘシ

前項遮斷ノ期限ヲ經過シ新患者ヲ出サザルトキハ其遮斷ヲ解除ス

第八條 患者アリタル家屋ハ掛吏員ノ指揮ヲ受ケ消毒ノ清潔法ヲ施行スヘシ其安全ニ施行スルコト能ハサルモノト認ムルトキハ其居住者ハ消毒ノ上他ニ隔離セシメ該家屋ハ九日間以上閉鎖セシムルコトアルヘシ

前項隔離シタル健康者ハ九日間他ト交通ヲ遮斷スルコトアルヘシ

第九條 船舶航行中百斯土患者若クハ疑似ノ患者又ハ其死者アルトキハ他ノ乗客ト隔離シ看護人ヲ一定シ他人ヲ近接セシムヘカラス且患者死者ニ觸接シタルモノハ他ト區別シ其豫防消毒ノ施行ヲ得ザルヘキモノニ就キ之ヲ行ヒ着港ノ上直チニ其地所轄ノ警察署分署又ハ町村役場ニ届出若クハ巡查駐在所ニ報告シ指揮ヲ受クヘシ掛吏員ノ指揮アルニ非サレハ乗客及乗組人ヲ上陸セシメ荷物等ノ陸揚ケヲ爲スコトヲ得ス

第十條 患者若クハ死者アリタル船舶ハ人家並ニ他ノ船舶ニ隔リタル場所ニ回航シ掛吏員ノ指揮ヲ受ケ消毒法ヲ行フヘシ其消毒ヲ行ヒタル後九日間他ト交通ヲ遮斷ス遮斷中ハ他ニ進航スルコトヲ得ス

第十一條 前條船舶ノ乗客及ヒ乗組人ハ消毒法ヲ行ヒタル後上陸セシメ尙病毒感染ノ疑ヒタル者ハ掛吏員ノ指定シタル場所ニ隔離シ九日間他ト交通ヲ遮斷スルコトアルヘシ

第十二條 汽車中百斯土患者若クハ疑似ノ患者又ハ其死者アルトキハ其患者又ハ死者ト全車室ニ同様に施行スヘシ

第十三條 百斯土患者若クハ疑似患者又ハ其死体ノ消毒法ハ虎列拉發疹室扶私ノ消毒ニ於ケルト同様に施行スヘシ

第十四條 明治二十五年一月本縣令第九號傳染病豫防細則第四條第五條第八條第九條第十條第十二條第十三條第十六條第三項第四項第七項第二十一條第一項第三項ハ本則ニモ亦之ヲ適用ス

第十五條 第一條第三條第四條第六條第九條第十條ニ違背シ又ハ第七條第一項第八條第二項第十條第十二條ノ交通遮斷ヲ犯シタル者ハ二日以上五以下ノ拘留又ハ五十錢以上一圓五十錢以下ノ科料ニ處ス

第十四條ニ依リ本則ニ適用スル傳染病豫防細則ノ條項ニ違背シタル者全細則第二十八條ニ依リ處分セラレヘキ者ナルトキハ本則ニ於テモ亦前項ニ依リ處分ス

〔參照〕 滋賀縣令第九號(明治二十五年一月二十三日公報)抄録

第三條 患者又ハ死体ヲ他ニ移サント欲スルトキハ掛吏員ノ許可ヲ受クヘシ但傳染病豫防規則第十四條第二項ヲ施行スル場合ニ於テハ吐瀉ノ二症ヲ豫備フル患者及死者モ亦同シ

第四條 死体ハ病毒ノ豫防ニ要ナル場合ニ於テハ掛吏員ノ許可ヲ受ケ死後二十四時間以内ト雖モ埋葬又ハ火葬スルヲ得

第五條 第三條第四條ノ場合ニ於テハ掛吏員出張指揮シ又特ニ時間ニ拘ハラヌ埋葬又ハ火葬セシムルコトアルヘシ

第八條 患者ノ居室ハ常ニ掃除シテ清潔ナラシメ斷ヘス空氣ノ流通ヲ宜クスヘシ

八 死体ハ掛吏員ノ指揮ヲ受ケ消毒法ヲ行ヒ速ニ棺内ニ納ムヘシ

十二 患者治療シタル後又ハ看病人其他患者若クハ死体ニ親接シタル者ハ掛吏員ノ指掛ヲ受ケ消毒法ヲ行フニ非サレハ他人ト交通スヘカラス

第十三條 交通運輸區域内若クハ不潔ノ部落ニ對シテハ消毒的清潔法ヲ施行シ且醫師ヲシテ各家ヲ巡診セシムルコトアルヘシ

第十六條

- 一 患者用ノ便器ニハ蓋置テ且且汚濁ノ虞ナキモノヲ撰ミ豫メ之ニ適宜量ノ石灰乳又ハ石炭酸水ヲ入レ置キ糞便ヲ水ケタル後ハ更ニ前記ノ消毒藥ヲ洒キタルト掛吏員ノ指掛ヲ受ケ脱却又ハ埋却スヘシ
- 二 患者ノ上リタル便所ニハ毎回消毒法ヲ行フヘシ
- 三 糞便及之ニ汚染セル物品ヲ取扱ヒタルトキハ直ニ石炭酸水ニテ手ヲ洗ヒ更ニ淨水ニテ洗フヘシ
- 四 看病人患者ノ居室ヲ出ルトキハ石炭酸水又ハ昇水水ニテ手ヲ洗ヒ更ニ淨水ニテ洗フヘシ
- 五 患者ノ用ヒタル衣服臥具其他病室内ニアル物品等ニシテ患者ノ身体ニ觸接セルモノ及看病人ノ衣服ハ之ヲ取替メ適宜ノ消毒藥ニ入レ置キ掛吏員ノ指掛ヲ受ケ消毒法ヲ行フヘシ

○滋賀縣令第二十九號

明治二十六年三月三十一號 滋賀縣令第五十一號 獸乳營業規則中左ノ通改正追加ス

明治二十八年七月十三日

滋賀縣知事 大越 亨

第八條ノ次ヘ左ノ一條ヲ加フ

第九條 獸乳搾取營業者ハ畜養スル乳獸ノ種屬種別牝牡毛色年齡特徵産地買入先ヲ記シ所轄警察署又ハ分署ヲ經テ知事ニ届出ツヘシ

乳獸死亡又ハ賣渡讓渡タルトキ亦同シ

但死亡ノ届ハ獸醫ノ診斷書ヲ添フヘシ

第九條ヲ第十條トシ同條中年齡ノ下ニ「特徴」ノ二字ヲ加フ第十條ヲ第十一條トシ以下各條項順次繰下ク其第十三條第十九條第三十條ヲ左ノ通改ム

第十三條 乳獸分娩シタルトキハ其種屬種別毛色年齡特徵ヲ記シ所轄警察署又ハ分署ヲ經テ知事ニ届出ツヘシ

乳獸分娩後一週間以内ハ乳汁ヲ搾取販賣スルコトヲ得ス

第十九條 乳獸疾病ニ罹リタルトキハ搾取ヲ止メ速ニ獸醫ノ診斷ヲ受ケ乳汁有害ノ診斷アリタルトキハ直ニ畜舎外ニ移シ即日乳獸ノ種屬種別毛色年齡特徵ヲ記シ診斷書ヲ添ヘ所轄警察署又ハ分署ヲ經テ知事ニ届出ヘシ

前項ノ病狀治癒シタルトキハ所轄警察署又ハ分署ヲ經テ知事ニ届出検査ヲ受クヘシ其検査ヲ受ケスシテ乳汁ヲ搾取販賣スルコトヲ得ス

第三十條 第三條第五條第七條第九條第十三條第十四條第十五條第十六條第十七條第十八條第十九條第二十一條第二十二條第二十五條第二十六條第二十八條ヲ犯シタル者ハ二日以上五日以下ノ拘留ニ處シ又ハ五十錢以上一円五十錢以下ノ科料ニ處ス

〔參照〕 滋賀縣令第五十一號(明治二十六年三月二十五日公報)抄録

第十三條 乳獸分娩後一週間以内ニ乳汁ヲ搾取販賣スルコトヲ得ス故ニ分娩後始メテ乳汁ヲ搾取販賣セント欲スルトキハ所轄警察署又ハ分署ヲ經テ知事ニ届出検査ヲ受クヘシ其検査ヲ受ケスシテ乳汁ヲ搾取販賣スルコトヲ得ス

第十九條 乳獸疾病ニ罹リタルトキハ搾取ヲ止メ速ニ獸醫ノ診斷ヲ受ケ即日乳獸ノ種屬種別等ヲ記シ診斷書ヲ添ヘ所轄警察署又ハ分署ヲ經テ知事ニ届出検査ヲ受クヘシ其治療若クハ死亡シタルトキ亦同シ

検査ノ上其乳汁販賣ヲ禁シタルトキハ直ニ病狀ヲ他ニ移スヘシ病狀治癒シタルトキハ獸醫ノ診斷書ヲ添ヘ届出検査ヲ受タルニテラサレハ乳汁ヲ搾取販賣スルコトヲ得ス

第三十條 第三條第五條第七條第十二條第十三條第十四條第十五條第十六條第十七條第十八條第二十條第二十一條第二十四條第二十五條第二十七條ヲ犯シタルモノハ二日以上五日以下ノ拘留ニ處シ又ハ五十錢以上一円五十錢以下ノ科料ニ處ス

第三條 獸乳搾取營業ヲサント欲スルモノハ第一號書式ノ願書ニ左ノ書類ヲ添ヘ所轄警察署又ハ分署ヲ經テ知事ニ届出免許ヲ受クヘシ其位置又ハ構造ヲ交換増減セント欲スルトキ亦同シ

一地主及四隣十間地主並家主ノ承諾書
 二搾取場及其構造並近傍ノ圍而
 三工事仕様書
 四乳獸ノ頭數種屬牛羊等書
 第五條 搾取場新設又ハ改修工事落成シタルトキハ所轄警察署又ハ分署ニ届出検査ヲ受クヘシ其検査ヲ受ケスシテ使
 用スルコトヲ得ス
 第七條 畜舎及欄柵木柵等破損シタルトキハ速ニ修繕ヲ加フヘシ
 第十四條 乳房及搾取者ノ衣服並容器等ヲ極メテ清潔ニ爲シ乳汁ニ汚物ノ混入セサル様注意シ仍ホ綿布ノ類ニテ濾過
 スヘシ
 第十五條 傳染病ノ虞アル者又ハ皮膚病アルモノヲシテ乳汁ヲ搾取セシムヘカラス
 第十六條 乳汁及製乳ノ容器量器ハ蓋等ヲ設ケ塵埃ノ混入セサル様注意シ使用ノ都度熱湯ヲ以テ洗滌スヘシ但容器量
 器ハ鉛、亞鉛、黃銅、其他有害ノ物質ヲ用フヘカラス
 第十七條 左ノ程度ニ適合セザル乳汁ハ純乳トシテ販賣スルコトヲ得ス
 一純乳 成分外ノ物質ヲ混和セザルモノヲ指シラケムス 試験紙ニ反應ヲ呈スルコト乳汁固有ノ度ヲ超ヘサルモノ其
 比重一〇二乃至一〇三三五層粉含量百分中三〇以上
 成分外物質ヲ混和セザルモノヲ指シラケムス 試験紙ニ反應ヲ呈スルコト乳汁固有ノ度ヲ超ヘサルモノ其比
 重一〇三三乃至一〇三六層粉含量百分中〇五以上
 第十八條 脫脂乳ハ其容器ニ脱脂乳ト明記シ販賣スヘシ
 第二十一條 獸乳搾取場若クハ乳汁販賣所ニ於テ六種傳染病(炭疽、拉馬、空扶、私赤、布痘、里亞)發症ニ罹ルモノアルトキ
 ハ所轄警察署又ハ分署ニ届出認可ヲ受クルニアラサレハ搾取販賣スルコトヲ得ス
 第二十二條 六種傳染病患者ニ接シタルモノハ乳汁搾取又ハ販賣等ニ從事スルコトヲ得ス
 第二十五條 獸乳ヲ請賣セント欲スルモノハ搾取營業人連署ノ書面ヲ以テ所轄警察署又ハ分署ニ届出フヘシ其支店ヲ
 設ケント欲スルトキ亦同シ
 搾取營業人ニ於テ搾取場外ニ販賣店ヲ設ケント欲スルトキ亦前項ニ同シ
 第二十六條 獸乳ヲ配達スルトキハ第二號書式ノ木札ヲ携帯スヘシ
 第二十八條 獸乳搾取場ヲ賣買譲與又ハ貸借シタルトキハ双方連署シ七日以内ニ所轄警察署又ハ分署ヲ經テ知事ニ届
 出ツヘシ

○滋賀縣令第三十號
 明治二十六年三月滋賀縣令第四十四號滋賀縣小學校規則中第二條第三條第五條及第二十四條左ノ通
 改正ス

明治二十八年八月八日

滋賀縣知事 大 越 亨

滋賀縣小學校規則

第二條 年中休業日ヲ定ムル左ノ如シ
 六夏季 七月二十一日ヨリ 間ニ於テ二十五日以内
 八月三十一日マテ
 第三條 夏時ノ暑熱甚シカラサル土地ニシテ農繁等ノ時期ニ於テ休業ヲ要スルトキハ夏季休業ヲ
 廢シテ之ニ代ヘ若クハ夏季休業ヲ短縮シテ其残余ノ日數以内ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得
 七月十一日ヨリ九月十日マテノ間ニ於テ暑熱ノ都合ニ依リ一日ノ教授時間ヲ尋常小學校ニ在リ
 テハ三時高等小學校ニ在リテハ四時マテニ減縮スルコトヲ得
 本條ノ場合ニ於テハ町村長ニ於テ豫メ知事ニ開申スヘシ
 第五條 每週ノ教授時間ハ尋常小學校ハ二十八時以内トシ高等小學校ハ二十三時以内トス
 第二十四條 教科課程ヲ定ムル左ノ如シ
 尋常小學校教科課程表

學年	科目	時間
第一學年	修身	三
	讀書	三
第二學年	修身	三
	讀書	三
第三學年	修身	三
	讀書	三
第四學年	修身	三
	讀書	三
作文		八
從)		10
全)		46
全)		46

習字 五前
 算術 五
 體操 三 (通)
 計 二四

習字 五
 算術 六
 體操 三 (上)
 計 二七

習字 五
 算術 六
 體操 三 (上)
 計 二七

習字 五
 算術 六
 體操 三 (上)
 計 二七

第四 土地ノ情况ニ依リ日本地理、日本歴史、圖書、唱歌、手工、裁縫ノ一科目若クハ數科目ヲ加フルトキハ其教授時間ハ便宜讀書以下ノ數科目ノ中ニ就キテ每週三時以內ヲ減シ若クハ本表每週教授時間ニ一時ヲ増シテ之ニ充ツルコトヲ得此場合ニ於テハ其教科課程及每週教授時間ヲ定メ知事ノ許可ヲ受クヘシ

第五 第一學年ノ每週教授時間ハ便宜十八時マテニ減スルコトヲ得

高等小學校教科課程表欄外

第四 土地ノ情况ニ依リ幾何ノ初歩、外國語、農業、商業、手工ノ一科目若クハ數科目ヲ加フルトキハ其教授時間ハ便宜讀書以下ノ數科目ノ中ニ就キテ每週三時以內ヲ減シ若クハ本表每週教授時間ニ三時以內ヲ増シテ之ニ充ツルコトヲ得此場合ニ於テハ其教科課程及每週教授時間ヲ定メ知事ノ許可ヲ受クヘシ

【參照】 滋賀縣令第四十四號(明治二十六年三月十一日公報)抄錄

第二條

六 夏期八月一日ヨリ二十一日マテ

第三條 土地ノ情况ニ依リ夏期休業日數ヲ減縮シ若クハ夏期中毎日二時乃至三時間授業ヲナスコトヲ得

又夏季休業ヲ練習便宜ニ於テハ夏期等ノ期節ニ於テ同日歇間休業スルコトヲ得此場合ニ於テハ豫メ知事ニ關申ス

第五條 每週ノ教授時間ハ尋常小學校ハ三十時以內トシ高等小學校ハ三十六時以內トス

第廿四條 教科課程ヲ定ムル左表ノ如シ

尋常小學校教科課程表

學年	第一學年		第二學年		第三學年		第四學年	
	時間	每週	時間	每週	時間	每週	時間	每週
修身	三	三	三	三	三	三	三	三
讀書	六	六	六	六	六	六	六	六
作文	九	五	五	五	五	五	五	五
習字	六	六	六	六	六	六	六	六
算術	六	七	七	七	七	七	七	七
體操	三	三	三	三	三	三	三	三
計	二九	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇

一 土地ノ情况ニ依リ日本地理、日本歴史、圖書、唱歌、手工、裁縫ノ一科目若クハ數科目ヲ加フルトキハ其教授時間ハ便宜讀書以下ノ數科目ノ中ニ就キテ每週五時以內ヲ減シテ之ニ充ツルコトヲ得但此場合ニ於テハ其教科課程及每週教授時間ヲ定メ知事ノ許可ヲ受クヘシ

高等小學校教科課程表欄外

一 土地ノ情况ニ依リ幾何ノ初歩、外國語、農業、商業、手工ノ一科目若クハ數科目ヲ加フルトキハ其教授時間ニ六時以內ヲ加ヘテ之ニ充ツルコトヲ得但此場合ニ於テハ其教科課程及每週教授時間ヲ定メ知事ノ許可ヲ受クヘシ

○滋賀縣令第三十一號

明治二十八年度地方稅地租割戶數割退加課率臨時縣會ノ決議ヲ經テ左ノ通之ヲ定メ明治二十八年

九月一日ヨリ同三十日限り徴收ス

明治二十八年八月十日

滋賀縣知事大越 亨

種別	課目	地租		戸數	
		割	付	割	付
追加ノ一	一	錢	三厘	四	錢
追加ノ二	二	三厘九毛四四八四三		一	錢三厘五毛五九〇五四

○滋賀縣令第三十二號

社寺境内民有地使用及管理ノ方法ハ總テ境内官有地取扱ノ例ニ準スヘシ

但社寺境内民有地ニシテ從來他ニ使用セシムル向ハ此際出願許可ヲ請フヘシ

明治二十八年八月十日

滋賀縣知事大越 亨

〔參照〕滋賀縣令第六十九號(明治二十四年六月十七日公報)抄録

官有社寺境内ヲ他人ニ使用セシムルトキハ此社寺ヨリ三箇月以内ノ期限ヲ定メ本縣廳ノ認可ヲ受クヘシ但祭典法用等ニ際シ一時ノ使用ハ其社寺限承諾スルコトヲ得

○滋賀縣令第三十四號

古物商取締法及同細則施行規則左ノ通之ヲ定ム

明治二十八年八月二十四日

滋賀縣知事大越 亨

古物商取締法及同細則施行規則

第一條 本則中取締法トハ古物商取締法、細則トハ古物商取締法細則ヲ云ヒ警察官署トハ警察署警察分署ヲ云フ

第二條 取締法及細則ニ規定シタル行政廳ノ職權ハ取締法第十四條第十六條及細則第九條ヲ除ク

ノ外總テ警察署長警察分署長ヲシテ之ヲ行ハシム

第三條 左ノ營業者ニシテ隨時其營業ニ屬スル古物ヲ賣買交換スルトキハ取締法、細則及此規則ヲ遵守スヘシ

佛 師

佛 具 商

佛 物 師

編 蝠 傘 商

靴 商

鍛 冶 職

漆 屋

第四條 營業ノ免許ヲ得ントスル願書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一 營業物品ノ種類

二 族籍、住所、氏名、年輪

三 前住地及現住地ニ移轉シタル年月日

四 族籍、氏名ヲ變更シタルモノハ舊族籍、氏名

五 營業者ノ退隱又ハ死亡等ニ因リ其營業ヲ繼承セントスルトキハ前營業者トノ關係

第五條 營業主死亡シ相續人未定ノ間ハ營業ヲ繼續スルコトヲ得ス

第六條 細則第九條ニ規定シタル市場ニ届出ハ警察官署ヲ經由スヘシ

第七條 免許ヲ受ケタル警察官署ノ所轄以外ノ地ニ營業所又ハ店舗ヲ設ケルトキハ其地ノ警察官署ニ届出ツヘシ

第八條 營業所又ハ店舗ニ管理人ヲ置クノ届書ニハ其管理人ニ付本則第四條第二乃至第四ノ事項

ヲ記載スヘシ

第九條 營業所又ハ店舗ノ移轉地警察官署ノ所轄ヲ異ニスルトキハ兩所轄ノ警察官署ニ届出ツヘシ

第十條 取締法第四條第二項ノ物品目録ニハ其種類、品質、形狀、摸樣、特徵、員數、代價、賣主讓主ノ住所氏名、年月日ヲ記載スヘシ

第十一條 刀劔又ハ之ヲ仕込ミタル器具ハ住所氏名詳ナラサル者ニ賣渡讓渡又ハ交換スルコトヲ得ス

第十二條 營業帳簿ハ警察官署ノ捺印ヲ受クヘシ其紙數ヲ増減シタルトキ亦同シ

第十三條 營業者ハ物品賣買明細帳、物品預帳ヲ製シ左ノ事項ヲ記載スヘシ

物品賣買明細帳

買受ノ部

買受讓受又ハ交換ニ因テ得タル物品ノ種類、品質、形狀、摸樣、特徵、員數、番號、賣主又ハ讓主ノ住所氏名、代價、供與シタル交換物、番號、年月日、取締法第七條但書ノ場合ニ於テハ其事由自用ノ物品ヲ賣品ニ供スルトキハ其種類、品質、形狀、摸樣、特徵、員數、番號、年月日及其事由物品ノ幾部ニ手入ヲ爲シタルトキハ其事由

賣渡ノ部

賣渡タル物品ノ代價若クハ取得シタル交換物ノ番號、年月日、買主讓受主詳ニスルコトヲ得タルトキハ其住所氏名

刀劔又ハ之ヲ仕込ミタル器具ニ付テハ前項ノ外買主讓受主ノ住所氏名、年月日、買受讓受又ハ賣品ヲ自用ニ供シ若クハ無價ニテ讓與シタルトキハ年月日及其事由

物品預帳

奇難物品ノ種類、品質、形狀、摸樣、特徵、員數、番號、所有主ノ住所氏名、年月日、買受讓受又ハ交換シ若クハ物品ヲ返還シタルトキハ其事由

第十四條 寄藏物品ヲ買受讓受又ハ交換シタルトキハ物品賣買明細帳ニ轉載スヘシ

第十五條 行商又ハ露店ヲ出スモノハ手控帳ヲ携帶シ行商中又ハ露店ニ於ケル物品ノ賣買交換ヲ記載シ置キ三日以内ニ物品賣買明細帳ニ登載スヘシ

第十六條 物品ニハ賣買明細帳又ハ預帳ト同一ノ番號ヲ附スヘシ

第十七條 市場ニ於テハ營業者ノ紹介ナクシテ非營業者ヨリ直ニ賣品ノ供托ヲ受クルコトヲ得ス

第十八條 市場ニハ物品賣揚帳ヲ備ヘ左ノ事項ヲ記載スヘシ

第十九條 非營業者ノ供托物ニ係ルトキハ前項ノ外物品ノ摸樣、特徵、賣主ノ住所氏名及紹介人ノ氏名

第二十條 取締法第十二條ニ依リ營業帳簿廢棄ノ許可ヲ得ントスルトキハ警察官署ニ願出ツヘシ

第二十一條 品觸寫書ハ編冊ヲ設ケ編綴保存スヘシ

第二十二條 六箇月以内ニ品觸寫書ヲ亡失シタルトキハ五日以内ニ其事實ヲ疏明シ警察官署ニ届出ツヘシ

第二十三條 行商又ハ露店鑑札ノ下付ヲ請ハントスル願書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一 營業物品種類
 二 家族又ハ同居ノ雇人ヲシテ行商又ハ露店ヲ出サシメントスルトキハ其族籍、住所、氏名、年齢

第二十四條 行商又ハ露店鑑札ヲ毀損若クハ亡失シ及其記載ノ事項ニ異動ヲ生シタルトキハ十日以内ニ書換又ハ再渡ヲ請フヘシ
 行商又ハ露店ヲ廢止シ若クハ死亡シタルトキハ十日以内ニ鑑札ヲ返納スヘシ
 但死亡者營業主ナルトキハ細則第四條第二項ニ從フヘシ

第二十五條 露店鑑札ハ之ヲ店頭ニ表出スヘシ

第二十六條 營業所又ハ店舗ニハ其業名ヲ記シタル看板ヲ掲クヘシ
 市場ニハ開市ノ月日開閉ノ時間ヲ記シタル看板ヲ掲クヘシ

第二十七條 取締法第四條第二項細則第四條第七條第十一條及本則第七條第八條第二項第九條第十二條ノ屆書又ハ行商若クハ露店鑑札ノ返納ハ便宜巡査駐在所ニ差出スコトヲ得

第二十八條 本則第七條第八條第二項第九條第十一條第十二條第十三條第十四條第十五條第十六條第十七條第十八條第二十條第二十一條第二十二條第二十四條第二十五條第二十六條ニ違背シタル者ハ一日以上三日以下ノ拘留ニ處シ又ハ二十錢以上一円二十五錢以下ノ料料ニ處ス

附 則
 第二十九條 從來免許ヲ得タル營業者ハ更ニ出願ノ手續ヲ要セス免許ノ効チ有セシム
 從前下付シタル行商鑑札ニ付テモ亦同シ
 但同居ノ雇人ニアラザル者ニ下付シタル鑑札ハ明治二十八年九月十五日迄ニ返納スヘシ

第三十條 從來ノ營業帳簿ハ明治二十八年十二月三十一日迄繼續使用スルコトヲ得

第三十一條 市場取締規則ニ依リ從來許可ヲ得タル古物ノ市場ハ明治二十八年九月三十日迄ニ更

ニ認可ヲ請フヘシ
 第一號 物品賣買明細帳

明治何年何月起	
物品賣買明細帳	何郡何村町大字何番屋敷
	古物 道具 商 何 某
<small>(二個以上ノ營業所又ハ店舗ヲ設ケルモノハ何某營業所又ハ店舗ト記載スヘシ第二號第四號第五號樣式亦同シ)</small>	
買受ノ部	賣渡ノ部
何年何月何日 第何號 一黒羽二重紋付男綿入 但菊水五ツ所紋裏花色秩父	何年何月何日 代金何円何十錢 何郡何村大字何、何某へ賣渡
壹枚	

適用紙
 堅二折

<p>第何號 一納戸色紹女紋付帷子 壹枚 但五七ノ桐三ツ所紋秋草裾襖襟裏 何々 此代金何四何十錢 何郡何町大字何、何某ヨリ買受</p> <p>同月何日 第何號 一古銅双鶴香爐 壹個 但無銘明代ノ作雄鶴ノ左足ニ環アリ 何郡何村大字何、何某ヨリ子第何號ト交換</p>	<p>何月何日 何郡何村大字何、何某へ第何號ト交換</p> <p>何月何日 自用ニ供ス</p>
<p>同月何日 第何號 某法學博士 一行政學汎論 但二冊本明治何年何月出版表紙ニ何 某藏書ノ印アリ 此代金何十錢 住所氏名詳ナラサル何府何市何町大字何 何某ヨリ何郡何村大字何、何某ヲ証人トシテ買受</p>	<p>何月何日 代金何十錢 住所氏名詳ナラサル年齡二十歲位書生体 ノ男へ賣渡</p>

第二號 物品預帳

<p>何年何月何日 第何號 一貞宗刀 一振 但長何尺何寸何分在銘縁頭目貫鏝切 羽鏢柄鞘何々 此代金何四何十錢 何郡何町大字何、何某ヨリ買受</p> <p>(一回住所氏名ヲ詳記シタルトキハ以後ハ單ニ 其氏名ノニ止ムルモ妨ケナシ第二號第三號 様式亦同シ)</p>	<p>何年何月何日 代金何四何十錢 何郡何村大字何第何番屋敷何某當何十何 歳へ賣渡</p>
<p>明治何年何月起</p> <p>物品預帳</p> <p>何郡何村大字何第何番屋敷</p> <p>古物 銅鐵書畫商何 某</p>	<p>適用紙 横二折</p>

第三號

物品賣揚帳

何年何月何日	何郡何町大字何
第何號	何
一平形銀瓶	一個
但目方何十何刃柄ハ象牙ヲ以テ接合シ取外シニ便ス箱ハ縞桐ニテ蓋ノ裏ニ何々ノ銘アリ	
何年何月何日買受	
同年何月何日	
第何號	何郡何町大字何
一堆朱書棚	一 低
但云々	何
何年何月何日返還	某

適用紙 横二折

明治何年何月起

物品賣揚帳	何郡何町大字何第何番屋敷
	市場主 何 某

明治何年何月何日	何某出
一結城縞男單衣	一枚
此代金何十錢	何 某
何某出	
一古銅大花瓶	一個
此代金何四何十錢	何 某
何月何日	
何郡何村大字何第何番屋敷何某出	
何某紹介	

一 宣徳火鉢
 但七賢人ノ浮模機桑台付
 此代金何円
 同
 一何々々
 但云々
 何 個
 何 某
 何 某

第四號 品觸寫書編冊

明治何年何月起

品觸寫書編冊

何郡何町大字何第何番屋敷
 何物何々商 何
 某

半紙形
厚表紙

第五號 營業所店鋪看板

道具著類
古物 書畫 書籍 商
何々何々

何郡何町村第何番屋敷
何

竪一尺五寸以上
幅六寸以上
木質適宜

第六號 市場看板

毎月一ノ日 午前第何時ヨリ
午後第何時マテ

古物 市場

何郡何町大字何第何番屋敷
市場主 何

竪二尺以上
幅八寸以上
木質適宜

○滋賀縣令第三十五號
 質屋取締法及同細則施行規則左ノ通之ヲ定ム
 明治二十八年八月二十四日
 滋賀縣知事 大越 亨
 質屋取締法及同細則施行規則
 第一條 本則中取締法トハ質屋取締法、細則トハ質屋取締法細則ヲ云ヒ警察官署トハ警察署警察

分署ヲ云フ

第二條 取締法及細則ニ規定シタル行政廳ノ職權ハ取締法第十八條第二十一條ヲ除クノ外總テ警察署長警察分署長ヲシテ之ヲ行ハシム

第三條 營業ノ免許ヲ得ントスル願書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

- 一 族譜、住所、氏名、年齢
- 二 前住地及現住地ニ移轉シタル年月日
- 三 族籍、氏名ヲ變更シタルモノハ舊族籍、氏名

第四條 營業者ノ退隱又ハ死亡等ニ因リ其營業ヲ繼承セントスルトキハ前營業者トノ關係

第五條 支店ニ管理人ヲ置クノ願書ニハ其管理人ニ付本則第三條第一乃至第三ノ事項ヲ記載スヘシ

第六條 店舖ノ移轉地警察官署ノ所轄ヲ異ニスルトキハ兩所轄ノ警察官署ニ届出ツヘシ

第七條 營業主死亡シ相續人未定ノ間ハ營業ヲ繼續スルコトヲ得ス

第八條 取締法第六條ノ事項ヲ定メ警察官署ニ届出ツヘシ其事項ヲ變更シタルトキ亦同シ

第九條 營業帳簿ハ警察官署ノ檢印ヲ受クヘシ其紙數ヲ増減シタルトキ亦同シ

第十條 營業者ハ質物臺帳、流質物賣拂帳ヲ製シ左ノ事項ヲ記載スヘシ

質物ノ種類、品質、形狀、摸樣、特徵、員數、番號、貸金額、質置主質使人ノ住所氏名、質入、受戻、入換、流質ノ年月日、利子ノ割合、取締法第四條但書ノ場合ニ於テハ其事由

轉質ニ供シタルトキハ質取主ノ住所氏名、年月日及其事由之ヲ受戻シタルトキハ年月日其事由

由

流質物賣拂帳

賣却セル流質物ノ種類、品質、形狀、摸樣、特徵、員數、番號、代價、買主ノ住所氏名、年月日

流質物ヲ自用ニ供スルトキハ其種類、品質、形狀、摸樣、特徵、員數、番號、年月日及其事由

第十一條 質物ニハ臺帳ト同一ノ番號ヲ付スヘシ

第十二條 營業帳簿廢止ノ許可ヲ得ントスルトキハ警察官署ニ願出ツヘシ

第十三條 品觸寫書ハ鑑冊ヲ設ケ編綴保存スヘシ

第十四條 六箇月以内ニ品觸寫書ヲ亡失シタルトキハ五日以内ニ事由ヲ説明シ警察官署ニ届出ツヘシ

第十五條 質物ハ抵當ニ供スルコトヲ得ス

轉質ニ取リタル物品ハ更ニ他ニ質入スルコトヲ得ス

第十六條 流質物ハ市場ニ販賣シ又ハ店頭ニ陳列シ若クハ廣告シテ購賣者ヲ募リ或ハ行商若クハ

轉賣スルコトヲ得ス

第十七條 店舖ニハ其業名ヲ記シタル看板ヲ掲クヘシ

第十八條 取締法第一條第二項細則第三條第六條及本則第五條第二項第六條第八條第一項第十四

條ノ圖書ハ便宜巡查駐在所ニ差出スコトヲ得

第十九條 本則第五條第二項第六條第八條第九條第十條第十一條第十三條第十四條第十五

條第十六條第十七條ニ違背シタル者ハ一日以上三日以下ノ拘留ニ處シ又ハ二十錢以上一円二十

五錢以下ノ科料ニ處ス

附 則

第二十條 從來免許ヲ得タル營業者ハ更ニ出願ノ手續ヲ要セス免許ノ効チ有セシム
第二十一條 從來ノ營業帳簿ハ明治二十八年十二月三十一日迄繼續使用スルコトヲ得

第一號 質物臺帳

明治何年何月起

質物臺帳

何郡何村大字何第何番屋敷

何

某

(支店ヲ設クルモノハ何某支店ト記載スヘシ)
(第二號第三號第四號様式亦同シ)

適用紙
ツ 堅二折

明治何年何月何日

第何號

一金何円

此利子云々

黒羽二重男綿入 一枚
但鶴五ツ所紋裏花色秩父
薩摩飛白女單衣 一枚
但襟裏何々
木綿紺茶格子縞男袷一枚
但裏何々左ノ袖ニ鼠喰アリ
三点

何郡何村大字何
置主 何
同町同字 何
使 何

某 某

同月何日

第何號

一金何円

此利子云々

金側懷中時計 一個
但何印何番形番號何打金
鎖目方何十何久金製方針
並ニ鉛筆付
何年何月何日第何號ト入換

何縣何郡何村大字何第何
番地當時何縣何郡何町大
字何第何番屋敷何某方止
宿 置主 何 某
住所氏名詳ナラサルニ付
警察官ノ認可ヲ受ク

(一回住所氏名ヲ詳記シタルトキハ以後ハ單ニ其
氏名ノミニ止ムルモ妨ケナシ第二號様式亦同シ)

第二號

流質物賣拂帳

明治何年何月起

流質物賣拂帳

何郡何村大字何第何番屋敷

某

適用紙
横二折

明治何年何月何日

子第何號

一何々々

但云々

同第何號

一何々々

但云々

一枚

同

第三號

品觸寫書編冊

明治何年何月起

品觸寫書編冊

何郡何村大字何第何番屋敷

何

某

半紙形
厚表紙

何点

此代金何円何十錢

何郡何町大字何古物商何某へ賣却

(一点毎ニ代價ヲ分チタルモ
ノハ一々之ヲ記載スヘシ)

第四號 看板

質屋

何郡何村大字何第何番屋敷
屋號 何 某

壁一尺五寸以上
幅六寸以上
木質適宜

第五號 質札

表

何 某 殿	金貨	第 號	年 月 日
	何円何十錢		
(印紙ヲ貼付スル所トス)			
物	質		
	何 点	何 枚	何 個
用紙仙花ノ類適宜			

裏

一云々	定
一云々	
一云々	
一云々	
(取辦法第六條ノ事項ヲ記載ス)	
(必要ノ事項ヲ記載ス)	
(支店ニ在テハ何郡何町(村)大字何第何番屋敷何某支店管理人何某ト記載スヘシ第六號様式亦同シ)	
何郡何村大字何第何番屋敷 質屋 何 某印	

第六號 通帳

質物之通

何郡何村大字何第何番屋敷
質屋 何 某印

一云々
一云々
一、
一、

(取辦法第六條ノ
事項ヲ記載ス)

定

何 某 殿

同上

何年何月何日

第何號

一金何円何十錢

木綿紺淺黃縞縮女單衣
表紺裏茶博多男帶

一 一
筋 枚

同年何月何日出賃

同月何日

二二点

第何號
一金何十錢
同月何日入換
何々
何個

一金

○滋賀縣令第三十六號

常置委員會ノ決議ヲ經テ明治二十八年年度地方稅地租割戸數割追加課率左ノ通之ヲ定メ明治二十八年九月一日ヨリ同三十日限リ徵收ス

明治二十八年八月二十八日

滋賀縣知事 大越 亨

地 租 割 地租一円ニ付二錢七厘一毛
戸 數 割 一戸ニ付九錢四厘六毛

○滋賀縣令第三十七號

明治二十八年六月本縣令第二十四號狩獵ニ關スル願屆手續第四條及第一號表式中保護ノ二字删除ス

明治二十八年九月二十八日

滋賀縣知事 大越 亨

(參照) 滋賀縣令第二十四號狩獵ニ關スル願屆手續(明治二十八年六月十二日公報)抄録

第四條 學術研究其他特別ノ理由ニ因リ保護鳥獸ノ捕獲ヲ要スルトキハ願書ニ左ノ事項ヲ記載シ許可ヲ受クヘシ

一 捕獲ヲ要スル理由及其方法

二 鳥獸ノ種類及其負數

三 捕獲期限

四 捕獲者ノ住所族籍職業氏名及年齡

[第一號表式]

保證鳥獸捕獲表		明治何年何月何日ヨリ		免許人住所氏名	
鳥獸名	雄	雌	計	捕獲人 郡村大字	氏名
備考	學術研究其他ノ理由ニ依リ某地方ニ於テ捕獲云々				
年月日	住所				
滋賀縣知事氏名殿	免許人氏名印				

○滋賀縣令第三十八號

明治二十五年十一月十一日 本縣令第六十七號威銃免許取締規則第四條中狩獵規則トアルヲ狩獵法ニ同規則第二十九條トアルヲ同法第二十七條ト改ム

明治二十八年九月二十八日

滋賀縣知事 大越 亨

(參照) 滋賀縣令第六十七號威銃免許規則(明治二十五年十一月十二日公報)抄録

第四條 威銃免許期限中免狀ヲ得スニテ狩獵規則ニ規定セル乙種ノ狩獵ヲ爲シ同規則第二十九條ノ處分ヲ受ケタルトキハ威銃免許ノ効ヲ失ヒ且滿一ケ年間再ヒ威銃免許ヲ受タルヲ得ス

○滋賀縣令第三十九號

明治二十八年八月 本縣令第三十五號質屋取締法及同細則施行規則第十六條中「流質物ハ」ノ四字ヲ「右物商ノ免許ヲ得スシテ流質物ヲ」ト改メ第十九條中「第十六條」ノ四字ヲ删除ス

明治二十八年十月二日

滋賀縣知事 大越 亨

(參照) 滋賀縣令第三十五號質屋取締法及同細則施行規則(明治二十八年八月二十四日公報)抄録

○滋賀縣令第四十號

明治二十八年八月 勅令第四百四十四號ニ依リ本縣ニ於テ朝鮮國ニ渡航ノ許可ヲ受ケントスル願書ニハ渡航ノ地名及目的ヲ詳記シ親族二名以上連署スヘシ但戶主ニ非サルモノハ戶主ノ連署ヲ要ス

明治二十八年十月十五日

滋賀縣知事 大越 亨

(參照) 本年十月勅令第四百四十四號(官報)抄録

文武官其他官廳ノ命ニ依ル者ノ外日本臣民ハ官署地方ニ可ナクシテ朝鮮國ニ渡航スルコトヲ禁ス犯ス者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ二十四日以上二百四日以下ノ罰金ヲ附加ス
本令ハ發布ノ日ヨリ施行ス

○滋賀縣令第四十一號

明治二十五年十一月二日 本縣令第五十二號徵兵規程中左ノ通改正ス
滋賀縣知事 大越 亨
第三條中「諸生徒」ノ下ニ「學生」ノ二字ヲ加ヘ「徵兵令第二十五條ノ所出」ヲ「徵兵通諭屆」ニ改ム
第四條中「諸生徒」ノ下ニ「學生」ノ二字ヲ加ヘ「三年以上」ニシテ退學ヲ命セラレ」ヲ「生徒學生ヲ免セラレ兵投上ニ關スル爾後ノ處分ヲ受ケ」ニ改ム
第五條第一項中「第二十條」ヲ「第二十一條」ニ「第二十三條」ニ「第二十五條」ニ「第二十七條」ニ改ム
「徵兵通諭」ニ「第六十二條」ヲ「第五十九條」ニ「第六十三條」ヲ「第六十一條」ニ改ム
「徵兵事務條例施行細則」以下ノ二十二字ヲ削ル
第六條第七條第八條第九條及第十七條ヲ削リ第十條第六條トシ以下逐次繰上シ

第十條第一項中「第二十條」ヲ「第二十二條」ニ改メ「第六十二條」ヲ「第五十九條」ニ改メ「第二十一條第一項」若クハ徵集猶豫ノ十五字及同條第二項ヲ削ル

第十一條第一項中「第八書式」ヲ「第七書式」ニ改ム

第十二條第一項中「第十一條」ヲ「第十三條」ニ改メ「第九書式」ヲ「第八書式」ニ改ム

第十三條中「第十一條」ヲ「第十三條」ニ改ム

第十四條中「第十一條」ヲ「第十三條」ニ改メ「異動」ノ下ニ「徵兵令中届出ノ明」ヲ割註ヲ加フ

第十六條第一項中「異動」ノ下ニ「徵兵令中届出ノ明」ヲ割註ヲ加フ

第二十一條中「第五十八條第五十九條」ノ十字ヲ削リ「第六十四條第六十五條」ヲ「第六十二條第六十三條」ニ改ム

第二十三條中「第六十二條」ヲ「第五十九條」ニ改メ「第二十條」ヲ「第二十二條」ニ改ム

第二十四條中「第二十條」ヲ「第二十二條」ニ改ム

第二十五條第一項中「新兵」ヲ「現役兵」ニ改メ「豫備徵員」ヲ「補充兵」ニ改メ「寄留地」以下ノ十七字ヲ削ル

第二十六條第一項中「新兵」ヲ「現役兵」ニ改メ「豫備徵員」ヲ「補充兵」ニ改ム

第二十七條中「新兵」ヲ「現役兵」ニ改メ「第二十條」ヲ「第二十二條」ニ改メ「第六十二條」ヲ「第五十九條」ニ改ム

第二十九條中「新兵及現役兵並豫備徵員」ヲ「現役兵入營前及在營中並補充兵」ニ改ム

第三十條中「第五十八條」ノ五字ヲ削ル

第一書式中「寄留」ヲ削ル

第二書式中「(何國何地某學校)ニ入學目下(何學)修業中」ヲ「ニ入學修業中(何國何地)ニ在留^{外國}」ニ改ム

第四書式中「第二十條」ヲ「第二十二條」ニ改メ「(寄留)」ヲ削ル

第五書式中「(寄留)」ヲ削リ「府(縣)郡(市)區(町)村(大字何)」ヲ「郡町(村)大字何」ニ改ム

第六書式ヲ削リ「第七書式」ヲ「第六書式」トシ以下逐次繰上ク

第七書式末行ノ次ニ左ノ三行ヲ加フ

前書之通相違無之候也

年月日

町(村)長 氏

名印

第八書式中「(寄留)」ヲ削リ第七行「年月日生」ノ次ニ「戸主氏名印」ノ一行ヲ加フ

第九書式中「第十一條」ヲ「第十三條」ニ改ム

(參照) 滋賀縣令第五十二號徵兵規程(明治二十五年六月二十九日公報)抄録

第三條 陸海軍衛生徒ニシテ兵籍ニ編入セラレタル者及重罪ノ刑ニ處セラレタル者ハ徵兵令第二十五條ノ届出ヲ爲ス

ニ及ハス但重罪ノ刑ニ處セラレタル者ニシテ大赦ニ依リ復讐ヲ得タル者ハ此限ニ在ラス

第四條 陸海軍衛生徒ニシテ兵籍ニ編入セラレタル者徵兵令届出前疾病其他ノ事故ニ依リ三箇年以上ニシテ選舉ヲ

命セラレタルトキハ速ニ其官ヲ本籍地ノ町村長ニ届出可シ

第五條 第一項

徵兵令第二十條ノ願ハ第一書式第二十一條ノ願ハ第二書式第二十五條ノ願ハ第三書式徵兵事務條例第六十二條ノ願ハ第四書式保證書ハ第五書式第六十三條ノ願ハ第六書式徵兵事務條例施行細則第四十五條ノ願ハ第七書式ニ準シ之ヲ作ル可シ

第六條 大隊區内ヨリ警備隊區内ニ警備隊區内ヨリ大隊區内ニ寄留ノ者ハ徵兵令第二十六條ニ依リ其區ニ於テ徵集ニ應スルコトヲ得ス

第七條 徵兵事務條例施行細則第三十一條ニ當ル徵集延期若クハ徵集猶豫ノ者ニシテ翌年仍ホ其地ニ於テ徵集ニ應セント欲スルトキハ更ニ徵兵事務條例第六十三條ニ依リ願出可シ

第八條 寄留地離職ノ許可ヲ得タル後疾病其他己ムヲ得サル事故ニ依リ他ノ徵集區ニ寄留セテ爲シ更ニ其地ニ於テ徵集ニ願セント欲スル者ハ其事由ヲ詳記シ寄留地ノ郡市長ニ願出可シ

第九條 寄留地應徵 許可ヲ得タル後其地他已ムラ得タル事故ニ依リ本籍地ノ抽籤前本籍ニ復歸スル者ハ其寄留地應徵額ノ取消ノ願出テコトヲ得但寄留證ヲ爲シ更ニ其地ニ於テ徵集ニ應スル者ニシテ本籍ニ復歸スル者ハ其寄留地ノ都市ニ屬出可シ

第十七條 寄留地應徵 許可ヲ得タルモノニシテ其年抽籤前身上ニ異動ヲ生シタルトキハ三日以内ニ戸主及ハ本人ヨリ寄留地ノ市町村長ニ屬出可シ

第十八條 寄留地應徵 許可ヲ得タルモノニシテ其年抽籤前身上ニ異動ヲ生シタルトキハ三日以内ニ戸主及ハ本人ヨリ應徵ノ受テタルトキハ其罪名刑名及宣告ノ年月日ヲ記載スヘシ

第十九條 寄留地應徵ノ處分ヲ受テタル後本籍ニ當ル者ハ戸主ヨリ本籍地ノ町村長ニ屬出可シ

第二十條 徵兵令第二十條第二十一條第一項ニ當リ徵集延期若クハ徵集預備ニ屬シ仍ホ其事故トマサル者ハ毎年徵兵事務條例第六十二條ニ依リ願出可シ

徵兵令第二十二條第二項ニ當リ徵集預備ニ屬シ仍ホ學徒修業ノ爲メ外國ニ寄留スル者其間亦前項ニ同シ

第一條第一項

徵兵事務條例施行規則第八條ノ現役志願者ハ兵種ヲ撰フコトヲ得其願ハ第八條式ニ準シ之ヲ作ル可シ

第十二條第一項

徵兵令第一條第三項ニ當ル者ハ其時々縣廳ニ出願シ第九條式ノ屆書ヲ提出シ身長ノ検査ヲ受テヘシ

第十三條 徵兵令第十一條第三項ニ當ル者自體ノ検査ヲ受ケタルトキハ三日以内ニ其所得ヲ本籍地ノ町村長ニ屬出ヘシ

第十四條 徵兵令第十四條第三項及ハ第四項ニ依リ服役中ノ者ニシテ滿二十八歳迄ニ身上ニ異動ヲ生シタルトキハ三日以内ニ本籍地ノ町村長ニ屬出ヘシ

第十六條第一項

徵集延期徵集預備若クハ入營延期翌年回ノ者ニシテ身上ニ異動ヲ生シタルトキハ三日以内ニ戸主ヨリ本籍地ノ町村長ニ屬出ヘシ

第二十一條 徵兵事務條例第五十四條第五十五條第五十八條第五十九條第六十四條第六十五條ノ届出ハ本人ヨリ之ヲ爲スヘシ

第二十三條 徵兵事務條例第六十二條ノ出願期日後其中抽籤前徵兵令第二十條ニ當ルヘキ事故ノ生シタルトキハ同條ニ準シ願出ヘシ

第二十四條 旅寄徵兵署開設前徵兵令第二十條ニ關スル大隊區徵兵官ノ裁決ニ不服アリテ旅寄徵兵官ニ既願スル者ハ

其願書ヲ縣廳ニ差出スヘシ

第二十五條第一項

新兵入營前又ハ豫備徵兵身上ニ異動ヲ除クヲ生シタルトキハ三日以内ニ本籍地ノ町村長ニ屬出可シ寄留地ニ於テ徵集ニ應ス可キ者亦同シ

第二十六條第一項

新兵入營前又ハ豫備徵兵證書ニ關スル異動ヲ生シタルトキハ其證書ヲ異動屆書ニ添付ス可シ

第二十七條 新兵入營前徵兵令第二十條ニ當リ徵集延期ニ屬シタル者ニシテ翌年ニ至ルモ其事故仍ホ止マサルトキハ徵兵事務條例第六十二條ニ依リ願出可シ

第二十九條 新兵及現役兵並豫備徵兵ニ係ル願屆書ニハ年度兵種番號等ヲ記載スヘシ

第三十條 徵兵事務條例第五十四條第五十八條ノ届出期限ハ市町村長ニ入籍ノ届出ヲ爲シタル日ヨリ起算スルモノトス

第一以下書式略ス

○滋賀縣令第四十三號
農會準則左ノ通相定ム

明治二十八年十二月七日

滋賀縣知事 大越 亨

農會準則

- 第一條 農會ハ農事ノ改良發達ヲ圖ルヲ以テ目的ト爲スヘシ
- 第二條 農會ヲ分ツテ左ノ三種トス
- 一 町村農會
 - 二 郡農會
 - 三 縣農會
- 第三條 町村農會ハ其町村ノ農業者及農事ニ關係アル者ヲ以テ組織シ郡農會ハ町村農會中ヨリ互撰セラレタル會員ヲ以テ組織シ縣農會ハ郡農會中ヨリ互撰セラレタル會員ヲ以テ組織スルモノトス

第四條 町村農會ハ二町村以上ヲ合セ一區域ト爲スコトヲ得

郡農會ハ郡役所ノ管轄區域ニ限リ二郡ヲ以テ一區域ト爲スコトヲ得

第五條 農會ノ施行スヘキ事項ハ概テ左ノ如シ

- 一 試作所ヲ設クル事
 - 二 農事ニ關スル諸統計ヲ調理スル事
 - 三 農具改良ノ事
 - 四 種苗交換ノ媒介ヲ爲ス事
 - 五 農産物ノ共同販賣並肥料農具等共同購入ノ事
 - 六 米質改良組合、蠶絲業組合及茶業聯合會議所等ニ聯絡ヲ通シ米茶蠶桑ノ改良ヲ圖ル事
 - 七 森林ノ繁殖及保護ノ事
 - 八 植物ノ病蟲害驅除及豫防ノ事
 - 九 家畜家禽ノ改良繁殖及傳染病驅除豫防ノ事
 - 十 農談會、品評會、共進會等開設ノ事
 - 十一 農業上有益ト認ムル事件ヲ其會員及各農會ヘ報告スル事
 - 十二 官廳ノ諮問ニ對シ應答スル事
 - 十三 前各項ノ外農事ニ必要ノ事項
- 第六條 左ノ各項ハ縣知事ノ認可ヲ受クヘシ
- 一 各農會ノ規約
 - 二 役員ノ就職
- 第七條 左ノ各項ハ規約ニ之ヲ定ムヘシ
- 一 役員並議員撰擧ニ關スル事

二 會議ニ關スル事

三 各農會氣脈聯通ノ方法ニ關スル事

四 費用ノ收支ニ關スル事

五 前各項ノ外農會ニ必要ノ事項

第八條 左ノ各項ハ縣知事ニ届出ツヘシ

一 會議ニ於テ議決セシ事項

二 費用ノ收支豫算並決算

○滋賀縣令第四十四號

臨時縣會ノ決議ヲ經テ明治二十八年年度地方稅戶數割追加課率左ノ通之ヲ定メ明治二十九年一月七日ヨリ同月三十一日限徵收ス

明治二十八年十二月十一日

金貳錢九厘

滋賀縣知事 大越 亨

○滋賀縣令第四十五號

明治二十二年七月本縣令第百號民林取締規則中ノ保護係ハ町村有及部落有山林ニ適用セス

明治二十八年十二月二十五日

滋賀縣知事 大越 亨

○滋賀縣令第四十六號

明治二十八年三月滋賀縣令第十二號地方稅土木工費支辨規則中左ノ通改正ス

明治二十八年十二月二十八日

滋賀縣知事 大越 亨

第一條 各號ヲ左ノ如ク改ム

一 國 道

二 假 定 縣 道

- 三 大谷停車場道
滋賀郡大津町大字大谷第二號國道ヨリ大谷停車場ニ達ス
- 四 馬場停車場道
滋賀郡大津町大字松本及膳所村大字膳所第二號國道ヨリ馬場停車場ニ達ス
- 五 草津停車場道
栗太郡草津町大字大路井第七號國道ヨリ草津停車場ニ達ス
- 六 石部停車場道
甲賀郡石部村大字石部第二號國道ヨリ石部停車場ニ達ス
- 七 三雲停車場道
甲賀郡三雲村大字三雲第二號國道ヨリ三雲停車場ニ達ス
- 八 深川停車場道
甲賀郡寺庄村大字深川新海道ヨリ深川停車場ニ達ス
- 九 野洲停車場道
野洲郡野洲村大字小篠原第七號國道ヨリ野洲停車場ニ達ス
- 十 彦根停車場道
阪田郡島居本村大字原第七號國道及犬上郡彦根町大字上瓦燒假定縣道朝鮮人街道ヨリ彦根停車場ニ達ス
- 十一 米原停車場道
阪田郡入江村大字米原假定縣道北國街道ヨリ米原停車場ニ達ス
- 十二 長岡停車場道
阪田郡春照村大字村木柏原道ヨリ東黒田村大字長岡伊吹道ヲ經テ長岡停車場ニ達ス

- 十三 長濱停車場道
阪田郡長濱町大字南船假定縣道北國街道ヨリ長濱停車場ニ達ス
- 十四 高月停車場道
伊香郡南富永村大字高月南街道ヨリ高月停車場ニ達ス
- 十五 中之郷停車場道
伊香郡余呉村大字中之郷第十八號國道ヨリ中之郷停車場ニ達ス
- 十六 柳ヶ瀬停車場道
伊香郡片岡村大字柳ヶ瀬第十八號國道ヨリ柳ヶ瀬停車場ニ達ス
- 十七 御藏港道
滋賀郡大津町大字上京第二號國道ヨリ大字湊ヲ經テ大字御藏御藏港ニ達ス
- 十八 紺屋關港道
滋賀郡大津町大字菟原第二號國道ヨリ大字南保紺屋關港ニ達ス
- 十九 山田港道
栗太郡草津町大字草津第二號國道ヨリ山田村大字山田山田港ニ達ス
- 二十 志那港道
栗太郡葉山村大字手原第二號國道ヨリ常盤村大字志那中志那港ニ達ス
- 二十一 赤野井港道
野洲郡野洲村大字野洲第七號國道ヨリ玉津村大字赤野井赤野井港ニ達ス
- 二十二 八幡港道
蒲生郡八幡町大字池田町三丁目假定縣道朝鮮人街道ヨリ大字池田町元八幡港ニ達ス

- 二十三 常樂寺港道
蒲生郡中野村大字中野御代參街道ヨリ安土村大字常樂寺常樂寺港ニ達ス
- 二十四 能登川港道
神崎郡能登川村大字能登川朝鮮人街道ヨリ同大字能登川港ニ達ス
- 二十五 柳川港道
愛知郡愛知川村大字杏掛第七號國道ヨリ稻村大字柳川柳川港ニ達ス
- 二十六 長曾根港道
犬上郡彦根町大字川原假定縣道朝鮮人街道ヨリ北青柳村大字長曾根長曾根港ニ達ス
- 二十七 米原港道
阪田郡入江村大字米原假定縣道北國街道ヨリ同大字米原港ニ達ス
- 二十八 鹽津港道
西淺井郡鹽津村大字杏掛越前國境ヨリ大字鹽津濱鹽津港ニ達ス
- 二十九 船木港道
高島郡饗庭村大字熊野本假定縣道西近江路ヨリ新儀村大字鷺園ヲ經テ本庄村大字南船木船木港ニ達ス
- 三十 堅田港道
滋賀郡堅田村大字本堅田假定縣道西近江路ヨリ同大字堅田港ニ達ス
- 三十一 途中越
滋賀郡堅田村大字本堅田假定縣道西近江路ヨリ伊香立村大字途中山城國境ニ達ス
- 三十二 葛川道
滋賀郡伊香立村大字途中越ヨリ葛川村大字阪下元標ニ達ス

- 三十三 龍花道
滋賀郡和邇村大字和邇中假定縣道西近江路ヨリ伊香立村大字下龍花上龍花ヲ經テ大字途中越ニ達ス
- 三十四 仰木道
滋賀郡堅田村大字本堅田假定縣道西近江路ヨリ仰木村元標ニ達ス
- 三十五 日吉道
滋賀郡下阪本村大字下阪本假定縣道西近江路ヨリ阪本村大字阪本日吉神社ニ達ス
- 三十六 延曆寺道
滋賀郡阪本村大字阪本日吉道ヨリ同大字延曆寺ニ達ス
- 三十七 山中起
滋賀郡大津町大字別所假定縣道筒井道ヨリ滋賀村大字滋賀里ヲ經テ大字山中山城國境ニ達ス
- 三十八 三井寺道
滋賀郡大津町大字上北國假定縣道西近江路ヨリ大字神出長等神社ニ達ス
- 三十九 大津衛成道
滋賀郡大津町大字松本第二號國道ヨリ大字下北國假定縣道西近江路ニ達ス
- 四十 縣廳前道
滋賀郡大津町大字東蒲縣廳門前ヨリ大字下堅田大津衛成道ニ達シ及大字四宮大津地方裁判所門前ヨリ大字東浦大字松本境界吾妻川西岸ニ達ス
- 四十一 宇治道
滋賀郡石山村大字鳥居川第二號國道ヨリ栗太郡大石村大字小田原山城國境ニ達ス

- 四十二 關津道 栗太郡瀬田村大字橋本第二號國道ヨリ下田上村大字關津ヲ經テ大石村大字富川字納所櫻川橋詰ニ達ス
- 四十三 田上道 栗太郡瀬田村大字神領第二號國道ヨリ上田上村大字牧、大鳥居道桐生道分岐点ニ達ス
- 四十四 野路道 栗太郡上田上村大字中野田上道ヨリ老上村大字野路第二號國道ニ達ス
- 四十五 矢橋道 栗太郡草津町大字矢倉第二號國道ヨリ老上村大字矢橋琵琶湖岸ニ達ス
- 四十六 志津道 栗太郡草津町大字草津第二號國道ヨリ上田上村大字桐生谷川南岸ニ達ス
- 四十七 草津道 栗太郡草津町大字大路井第二號國道ヨリ大字草津志津道ニ達ス
- 四十八 下笠道 栗太郡草津町大字大路井第二號國道ヨリ笠登村大字下笠琵琶湖岸ニ達ス
- 四十九 金勝道 栗太郡治田村大字川邊第二號國道ヨリ金勝村大字御園ヲ經テ甲賀郡石部村大字石部第二號國道ニ達ス
- 五十 荒張道 栗太郡金勝村大字御園金勝道ヨリ御園山入ヲ經テ志津村大字山寺志津道ニ達ス

- 五十一 守山道 栗太郡葉山村大字林第二號國道ヨリ野洲郡守山村大字守山ヲ經テ河西村大字播田赤野井港道ニ達ス
- 五十二 濱街道 栗太郡常盤村大字志那中志那港道ヨリ野洲郡小津村玉津村速野村中洲村兵主村ヲ經テ北里村大字江頭假定道縣朝鮮人街道ニ達ス
- 五十三 佐々木街道 野洲郡玉津村大字赤野井赤野井港道ヨリ篠原村大字小南假定道縣朝鮮人街道ニ達ス
- 五十四 錦織寺道 野洲郡篠原村大字大篠原第七號國道ヨリ祇王村大字永原中里村大字木部ヲ經テ兵主村大字六條濱街道ニ達ス
- 五十五 野洲道 野洲郡中里村大字乙窪佐々木街道ヨリ野洲村大字小篠原假定道縣朝鮮人街道ニ達ス
- 五十六 三上道 野洲郡野洲村大字行畑第七號國道ヨリ三上村大字三上元標ニ達ス
- 五十七 新海道 甲賀郡三雲村大字三雲第二號國道ヨリ寺庄村ヲ經テ油日村大字五反田伊賀國境ニ達ス
- 五十八 信樂道

- 五十九 深川道
甲賀郡北杣村大字山上信樂道ヨリ南杣村大字杉谷新海道ニ達ス
- 六十 伊賀街道
甲賀郡寺庄村大字深川新海道ヨリ龍池村大字龍法師ヲ經テ宮村大字柑子伊賀國境ニ達ス
- 六十一 大原道
甲賀郡大原村大字大原市場新海道ヨリ大字樺野ヲ經テ油日村大字五反田新海道ニ達ス
- 六十二 佐山道
甲賀郡寺庄村大字寺庄新海道ヨリ佐山村大字小佐治ヲ經テ大野村大字前野第二號國道ニ達ス
- 六十三 甲賀郡役所道
甲賀郡水口町大字水口第二號國道ヨリ甲賀郡役所ニ達ス
- 六十四 日野道
甲賀郡水口町大字水口第二號國道ヨリ蒲生郡日野町大字松尾御代參街道ニ達ス
- 六十五 石原道
甲賀郡水口町大字水口日野道ヨリ蒲生郡北比都佐村大字石原御代參街道ニ達ス
- 六十六 水口道
蒲生郡馬淵村大字馬淵八幡道ヨリ苗村甲賀郡伴谷村大字春日ヲ經テ水口町大字水

- 六十七 鏡山道
口第二號國道ニ達ス
甲賀郡柏木村大字泉第二號國道ヨリ伴谷村下田村蒲生郡鏡山村桐原村ヲ經テ金田村大字鷹飼假定縣道八幡道ニ達ス
- 六十八 三雲道
蒲生郡苗村大村山之上水口道ヨリ甲賀郡下田村ヲ經テ三雲村大字三雲第二號國道ニ達ス
- 六十九 御代參街道
甲賀郡土山村大字北土山第二號國道ヨリ蒲生郡日野町神崎郡八日市町ヲ經テ北五箇莊村大字小幡第七號國道ニ達ス
- 七十 長命寺道
蒲生郡八幡町大字仲屋町元大字仲屋町中境界假定縣道朝鮮人街道ヨリ島村大字長命寺ニ達ス
- 七十一 石寺道
蒲生郡老蘇村大字東老蘇第七號國道ヨリ大字石寺觀音寺ニ達ス
- 七十二 八幡道
蒲生郡朝日野村大字岡本御代參街道ヨリ馬淵村大字千僧供第七號國道ニ達ス
- 七十三 櫻谷道
蒲生郡櫻川村大字川合八幡道ヨリ東櫻谷村大字中之郷市原道ニ達ス
- 七十四 蛇砂道
蒲生郡平田村大字上平木八幡道ヨリ市邊村中野村玉緒村ヲ經テ市原村大字高木市

- 七十五 八 原道ニ達ス
風街道
蒲生郡武佐村大字武佐大字長光寺境界第七號國道ヨリ神崎郡八日市町ヲ經テ山上村大字相谷谷目道九居瀬道分岐点ニ達ス
- 七十六 玉 緒道
蒲生郡日野町大字大窪御代參街道ヨリ玉緒村ヲ經テ神崎郡御園村大字蘭畑八風街道ニ達ス
- 七十七 市 原道
蒲生郡日野町大字日野河原玉緒道ヨリ市原村ヲ經テ神崎郡山上村大字山上八風街道ニ達ス
- 七十八 五 箇 莊 道
蒲生郡老蘇村大字清水鼻第七號國道ヨリ神崎郡南五箇莊村大字金堂ヲ經テ五峯村大字佐生能登川道ニ達ス
- 七十九 朝 鮮 人 街 道
蒲生郡八幡町大字仲屋町上假定縣道朝鮮人街道假定縣道八幡道接續点ヨリ神崎郡能登川村ヲ經テ犬上郡彦根町大字橋向假定縣道朝鮮人街道假定縣道彦根道接續点ニ達ス
- 八十 川 並 道
神崎郡建部村大字上日吉御代參街道ヨリ南五箇莊村大字川並五箇莊道ニ達ス
- 八十一 能 登 川 道
神崎郡北五箇莊村大字築瀬第七號國道ヨリ八幡村大字甲見朝鮮人街道ニ達ス

- 八十二 栗 見 道
神崎郡八幡村大字甲見朝鮮人街道ヨリ栗見村大字栗見出在家元標ニ達ス
- 八十三 伊 庭 道
神崎郡能登川村大字能登川朝鮮人街道ヨリ伊庭村五峯村八幡村葉枝見村ヲ經テ愛知郡稻村大字柳川柳川港道ニ達ス
- 八十四 澁 水 道
神崎郡旭村大字山本川並道ヨリ大字奥村ヲ經テ愛知郡西押立村大字横溝角井道ニ達ス
- 八十五 八 日 市 道
愛知郡東押立村大字今在家高野街道ヨリ西押立村大字横溝神崎郡御園村大字神田ヲ經テ八日市町大字八日市八風街道ニ達ス
- 八十六 穂 宮 道
愛知郡豊椋村大字南清水清水道ヨリ西小椋村大字中岸本八日市道ニ達ス
- 八十七 角 井 道
愛知郡豊知川村大字愛知川第七號國道ヨリ西押立村大字横溝ヲ經テ角井村大字市ヶ原高野街道ニ達ス
- 八十八 愛 知 川 道
愛知郡東押立村大字今在家高野街道ヨリ西押立村大字勝堂ヲ經テ愛知川村大字愛知川第七號國道ニ達ス
- 八十九 秦 川 道
愛知郡稻村大字石寺三津屋道ヨリ日枝村ヲ經テ秦川村大字竹原谷高野街道ニ達ス

- 九十 三津屋道
愛知郡稻村大字薩摩柳川港道ヨリ犬上郡磯田村ヲ經テ北青柳村大字長曾根長曾根港道ニ達ス
- 九十一 肥田街道
犬上郡川瀬村大字堀朝鮮人街道ヨリ愛知郡稻枝村大字肥田ヲ經テ愛知川村大字川原柳川港道ニ達ス
- 九十二 高野街道
犬上郡高宮村第七號國道ヨリ愛知郡秦川村大字北蚊野ヲ經テ高野村永源寺ニ達ス
- 九十三 西明寺道
犬上郡川瀬村大字葛籠町第七號國道ヨリ東甲真村大字池寺西明寺ニ達ス
- 九十四 金屋道
犬上郡多賀村大字敏満寺川相道ヨリ東甲真村大字金屋西明寺道ニ達ス
- 九十五 多賀道
犬上郡高宮村第七號國道ヨリ多賀村大字多賀多賀神社前ヲ經テ久徳村大字一圓芹谷道ニ達ス
- 九十六 川相道
犬上郡多賀村大字多賀多賀道ヨリ大瀧村大字川相菅原道佐目道分岐点ニ達ス
- 九十七 五僧道
犬上郡久徳村大字久徳多賀道ヨリ脇ヶ畑村大字五僧美濃國境ニ達ス
- 九十八 芹谷道
犬上郡彦根町大字上川原假定縣道朝鮮人街道ヨリ久徳村大字一圓ヲ經テ芹谷村大

- 九十九 地蔵道
字水谷水道河内道分岐点ニ達ス
- 百 荒神街道
犬上郡多賀村大字多賀多賀道ヨリ千本村大字大堀第七號國道ニ達ス
- 百一 日夏道
犬上郡瀬山村大字賀田山朝鮮人街道ヨリ豊郷村大字四十九院第七號國道ニ達ス
- 百二 巡禮街道
犬上郡河瀬村大字出町第七號國道ヨリ日夏村朝鮮人街道ニ達ス
- 百三 多景島道
犬上郡南青柳村大字廿呂朝鮮人街道ヨリ彦根町大字池洲ヲ經テ尋常小學校及監獄彦根支署ニ達ス
- 百四 松原道
犬上郡福満村大字西今朝朝鮮人街道ヨリ磯田村大字八阪三津屋道ニ達ス
- 百五 米原道
犬上郡彦根町大字石ヶ崎長曾根港道ヨリ松原村琵琶湖畔ニ達ス
- 百六 樋口道
阪田郡息郷村大字番場第七號國道ヨリ入江村大字米原假定縣道北國街道ニ達ス
- 百七 黒田道
阪田郡法性寺村大字長澤假定縣道北國街道ヨリ日撫村大字高溝息長村大字能登瀬ヲ經テ息郷村大字樋口第七號國道ニ達ス
- 阪田郡六莊村大字高橋假定縣道北國街道ヨリ西黒田村ヲ經テ東黒田村大字長岡伊

- 百八 吹道ニ達ス
柏原道
阪田郡春照村大字春照第十八號國道ヨリ柏原村大字大野木ヲ經テ大字柏原第七號國道ニ達ス
- 百九 龍ヶ鼻道
阪田郡六莊村大字八幡東假定縣道長濱道ヨリ北郷里村大字東上阪ヲ經テ春照村大字高番柏原道ニ達ス
- 百十 山東街道
阪田郡醒井村大字醒井第七號國道ヨリ東黒田村大字志賀谷ヲ經テ大原村大字市場龍ヶ鼻道ニ達ス
- 百十一 神照道
阪田郡神照村大字十里十里街道ヨリ大字相模假定縣道北園街道ニ達ス
- 百十二 伊吹道
阪田郡醒井村大字一色第七號國道ヨリ大原村大字間田ヲ經テ東淺井郡東草野村大字吉槻元標ニ達ス
- 百十三 七尾道
阪田郡北郷里村大字東上阪龍ヶ鼻道ヨリ東淺井郡七尾村大字今庄ヲ經テ下草野村大字東野鍛冶屋街道ニ達ス
- 百十四 山西街道
阪田郡入江村大字米原原道ヨリ南郷里村大字宮司ヲ經テ東淺井郡小谷村大字伊部第十八號國道ニ達ス

- 百十五 鍛冶屋街道
阪田郡長濱町大字神戸假定縣道長濱道ヨリ東淺井郡湯田村大字三田下草野村大字北ノ郷ヲ經テ東草野村大字吉槻元標ニ達ス
- 百十六 十里街道
阪田郡神照村大字十里鍛冶屋街道ヨリ東淺井郡虎姫村大字中野ヲ經テ小谷村大字川毛尾上道ニ達ス
- 百十七 大郷道
東淺井郡上草野村大字西主計鍛冶屋街道ヨリ湯田村大字大路阪田郡神照村大字國友東淺井郡大郷村大字川道大濱ヲ經テ大字八木濱琵琶湖岸ニ達ス
- 百十八 田根道
東淺井郡虎姫村大字酢村假定縣道北園街道ヨリ湯田村大字尊勝寺田根村大字小室ヲ經テ上草野村大字鍛冶屋鍛冶屋街道ニ達ス
- 百十九 湯田街道
東淺井郡虎姫村大字宮部山西街道ヨリ湯田村大字内保ヲ經テ大字八島第十八號國道ニ達ス
- 百二十 竹生島道
東淺井郡速水村大字馬渡假定縣道北園街道ヨリ竹生村大字富田ヲ經テ大字早崎琵琶湖岸ニ達ス
- 百二十一 尾上道
東淺井郡小谷村大字郡上第十八號國道ヨリ速水村大字速水朝日村大字五坪山本東尾上ヲ經テ大字尾上琵琶湖岸ニ達ス

- 百二十二 朝 日 道
東淺井郡大郷村大字曾根假定縣道北國街道ヨリ竹生村大字弓削ヲ經テ朝日村大字山本尾上道ニ達ス
- 百二十三 中 街 道
東淺井郡大郷村大字川道大郷道ヨリ大字野寺ヲ經テ大字羅波朝日道ニ達ス
- 百二十四 西 街 道
伊香郡北富永村大字井口第十八號國道ヨリ七郷村大字東物部古保利村大字西阿閉ヲ經テ東淺井郡朝日村大字山本尾上道ニ達ス
- 百二十五 南 街 道
伊香郡北富永村大字井口第十八號國道ヨリ南富永村大字高月ヲ經テ古保利村大字西阿閉西街道ニ達ス
- 百二十六 字 根 道
伊香郡南富永村大字字根假定縣道北國街道ヨリ古保利村大字東阿閉南街道ニ達ス
- 百二十七 七 郷 道
伊香郡古保利村大字東柳野西街道ヨリ七郷村ヲ經テ木之本村大字木之本木之本道ニ達ス
- 百二十八 杉 野 道
伊香郡木之本村大字木之本第十八號國道ヨリ高時村大字河合ヲ經テ杉野村大字本平三谷川北岸ニ達ス
- 百二十九 井 明 神 道
伊香郡高時村大字河合杉野道ヨリ北富永村大字持寺第十八號國道ニ達ス

- 百三十 木 之 本 道
西淺井郡鹽津村大字鹽津濱鹽津港道ヨリ伊香郡伊香具村大字飯浦ヲ經テ木之本村大字木之本第十八號國道ニ達ス
- 百三十一 丹 生 道
伊香郡余呉村大字中之郷第十八號國道ヨリ丹生村大字菅並高時川東岸ニ達ス
- 百三十二 西 淺 井 道
伊香郡片岡村大字今市第十八號國道ヨリ西淺井郡鹽津村大字祝山永原村大字黒山ヲ經テ高島郡劍熊村大字小荒路假定縣道西近江路ニ達ス
- 百三十三 權 現 越 道
西淺井郡鹽津村大字鹽津濱鹽津港道ヨリ大字祝山ヲ經テ伊香郡余呉村大字下余呉第十八號國道ニ達ス
- 百三十四 大 浦 道
西淺井郡鹽津村大字杏掛鹽津港道ヨリ永原村大字大浦琵琶湖岸ニ達ス
- 百三十五 仲 仙 寺 道
高島郡西庄村大字蛭口假定縣道西近江路ヨリ大字上開田ヲ經テ劍熊村大字小荒路假定縣道西近江路ニ達ス
- 百三十六 海 津 道
高島郡今津村大字今津假定縣道西近江路ヨリ百瀬村大字知内ヲ經テ海津村大字西濱假定縣道西近江路ニ達ス
- 百三十七 上 街 道

高島郡水尾村大字鴨假定縣道西近江路ヨリ安曇村大字田中ヲ經テ新儀村大字安井川假定縣道西近江路ニ達ス

百三十八

朽木道

高島郡大溝村大字勝野假定縣道西近江路ヨリ水尾村大字武曾廣瀬村大字長尾及朽木村大字野尻市場ヲ經テ三谷村大字保阪假定縣道若狹街道ニ達ス

百三十九

高島道

高島郡高島村大字拜戸朽木道ヨリ大字高島元標ニ達ス

第六條第二項中「組合ニ於テ」ノ下ニ「其ノ事務費其他其年度既定ノ歳出ヲ併セ」ノ十七字及「能ハサルトキ其」ノ下ニ「不足ノ事務費」ノ五字ヲ加フ

第九條但書ヲ删除シ左ノ一項ヲ加フ

競争不成立若クハ請負違約等ノ場合ニ於テハ其處分方ヲ具シ知事ノ指揮ヲ受クヘシ

第十三條中「丁五日前」ノ下ニ「入札廣告書案添付」ノ八字ヲ加フ

第十八條第二中「請負契約」ノ下ニ「又ハ其他」ノ四字ヲ加フ

○滋賀縣令第四十七號

明治二十五年^四本縣令第二十八號地租ニ關スル願屆書式中左ノ通更定ス

明治二十八年^四十二月二十八日

滋賀縣知事 大越 亨

一 内書地契筆届書式下段ニ「野取繪圖ヲ要セサル云々」トアル上ヘ「一部契筆ハ其殘地共野取繪圖ヲ記載スヘシト雖モ全部契筆ハ」ノ二十七字ヲ加フ

一 開墾届書式中「又ハ溜池」及「又ハ溜池何程何々」トアルヲ删除ス

一 書式中數筆アルトキハ合計ヲ掲ケ地目限内譯及ハ年期毎ニ小別スヘシトアル廉ハ總テ删除ス

一 地目變換届書式前欄外ヘ「級代ノ余地凡ソ一寸二分ヲ存置スヘシ以下同シ」ノ二十一字ヲ加フ

畦畔廢除届

何郡何町村

大字何字何第何番

。田何程

。地價何程

。地租何程

。外畦畔何程ノ内

一 田何程

地價何程

地租何程

合併

田何程

地價何程

地租何程

外畦畔何程

地價何程

地租何程

外畦畔何程

此地圖ハ合併反別ノ地價ツ本
地ノ七例ヲ以テ算定シ之ニヨリ地
租ヲ算出シテ本地ノ地價地租ヲ扣
除シタル殘數ヲ記載スヘシ

全部ノ野取繪圖ヲ記載スヘシ

丈量反別何程	
地價何程	
地租何程	
外畦畔何程	
比較	増又ハ減
反別何程	同
地價何程	同
地租何程	同
畦畔何程	同
持主	何 某 印
大字何字何第何番	
。田何程	
。地價何程	
。地租何程	
。外畦畔何程ノ内	
同番ノ内第一	
一原野(草生)何程	
野取繪圖ヲ記載スヘシ	

本地ト異ナル他ノ地目トナルトキハ左ノ如ク記載スヘシ

地價何程	
地租何程	
比較地第何番何等反價何程	
持主	何 某 印
右之通畦畔廢除候ニ付地價御訂正(御査定)相成度及御届候也	
畦畔 新 設 居	何 郡 何 町 村
大字何字何第何番	
。田何程	
。外畦畔何程	
。地價何程	
。地租何程	
内	
一反別何程	畦畔成
地價何程	
地租何程	

此地價地租ハ廢地反別ノ地價ト本
租ノ比例ヲ以テ算定シ之ニヨリ地
租ヲ算出シテ本地ノ地價地租額ヨ
リ除クタル廢地ノ地價地租額ヲ
得クヘシ

殘地何程

外畦畔何程

地價何程

地租何程

野取繪圖ヲ記載スヘシ

地盤ヲ丈量シテ増減ヲ生シタルトキハ
左ノ如ク記載スヘシ

丈量反別何程

外畦畔何程

地價何程

地租何程

比較

反別何程

地價何程

地租何程

畦畔何程

増又ハ減

同

同

同

右之通畦畔新設致候ニ付地價御訂正相成度及御届候也

荒地免租年期明届

何郡何町村

大字何字何第何番

一田一反歩

外二十歩

地價六十圓

地租一圓五十錢

但何年ヨリ何年マテ何ケ年期

復舊

畦畔

持主

何

某印

大字何字何第何番

田四畝歩

。地價十六圓

。地租四十錢

外

一田六畝歩

外二十歩

地價二十四圓

地租六十錢

復舊

畦畔

原地目ニ復シタルモノハ野取繪圖ヲ
要セサルニ付數筆アルトキハ下段ヘ
モ記載スヘシ
但工事ノ都合ニ依リ舊形ニ復サハ
ルモノ及ヒ分割若クハ隣地ト合併
ニ係ルモノハ此限ニ非ス

但何年ヨリ何年マテ何ケ年期

持主

何 某 印

元地價ノ幾分他ノ地目ニ起返リ若クハ
滿年期低價年期ノ出願ヲ要スルモノア
ルトキハ左ノ如ク記載スヘシ

大字何字何第何番

一田五畝歩

。地價何程

。地租何程

。外

。元反別一反歩

。外二十一歩

畦 畔

。地價何程

。地租何程

。何年ヨリ何年マテ何ケ年期

。内

。反別五畝十歩

。外二十一歩

畦 畔

。地價何程

此地價ハ元反別地價ノ比例ヲ以
テ算出スヘシ

。地租何程

一田五畝十歩

。外二十一歩

復 舊
畦 畔

。地價何程

。地租何程

此地價ハ元反別ノ比例ヲ以テ算出シ
地租ハ起返地價ト無害地々價合併
地價ヨリ算出シタル地租ヨリ無害地
ノ地租ヲ控除シタル殘數ヲ掲クヘシ

。反別四畝二十歩

滿年期又ハ低價年期出願ヲ要スルモ
ノアルトキハ附紙ヲ以テ出願シタル
旨ヲ附記スヘシ

。地價何程

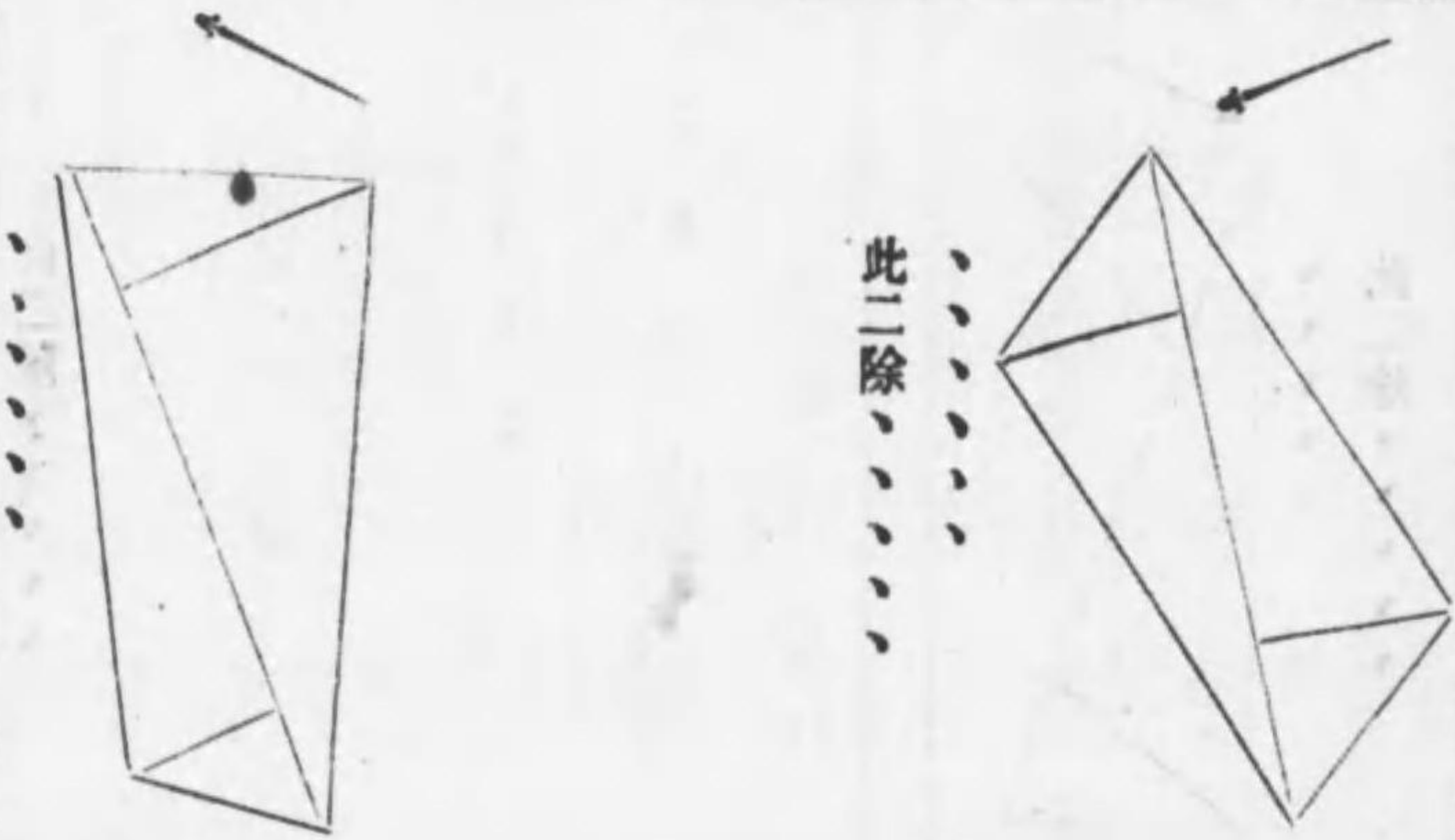
此地價地租ハ元反別ノ地價地租ヨリ
舊ニ變シタル部分ノ地價地租ヲ控除
シタル殘數ヲ掲クヘシ

同番 内第一

一畑四畝二十五歩

田ヨリ變換起返

此二除



<p>内 五步 丈量增 地價何程 地租何程</p>	<p>比較地第何番何等反價何程</p>	<p>持主 何 某 印</p>	<p>大字何字何第何番 。元畑何程</p>	<p>。地價何程</p>	<p>。地租何程 但何年ヨリ何年マテ何ケ年期</p>	<p>一畑何程</p>	<p>復 舊</p>	<p>内河程 山林又ハ何々 丈量增</p>	<p>地價何程</p>	<p>内河程</p>	<p>地租何程</p>
<p>元他ノ内幾分他ノ地日ニ起返リ本地量 入ヲ要スルモノアルトキハ左ノ如ク記 載スヘシ</p>											

<p>内書ニ於スル比較地第何番何等反價何程</p>	<p>持主 何 某 印</p>	<p>右之地所本年期明ニ付(地價御査定相成度地位等級地價ノ見込ヲ記シ)及御届候也</p>	<p>荒地起返地價年期願</p>	<p>大字何字何第何番 一田一反步</p>	<p>。原地價六十円</p>	<p>。地租一円五十銭</p>	<p>。但何年ヨリ何年マテ何ケ年免租年期之分</p>	<p>地價三十円 五割引</p>	<p>地租七十五銭</p>	<p>此地價・原地價・引歩合ヲ乗シタル 金額ヲ原地價ノ内ヨリ控除シタル 額ヲヘシ</p>	
<p>一筆ノ幾分ニシテ低價年期出願ヲ 要スルモノアルトキハ左ノ如ク記載ス ヘシ</p>											
<p>何郡何町村</p> <p>大字何字何第何番 。田七畝二十步 。地價四十六円 。地租一円十五銭 。外 一田五畝步 。原地價三十二円</p>											

<p>持主 何 某 印</p> <p>○改租以前ノ荒地ニシテ低價年額ヲ出願スルモノアルトキハ左ノ如ク記載スヘシ</p> <p>大字何字何第何番 一畑八畝歩 。假地價二十四円 。地租六十錢 比較地第何番何等反價何程 。但何年ヨリ何年マテ何ヶ年免租年期ノ分 地價十四円四十錢 四割引 地租三十六錢</p>	<p>持主 何 某 印</p> <p>○但何年ヨリ何年マテ何ヶ年免租年期ノ分 地價九円六十錢 七割引 地租十四錢</p> <p>此地圖ハ低價ト無事地々瓜分ノ類ヨリ出シタル地租ヨリ無事地ノ地租ヲ除シタル地租額ヲ指クヘシ</p>
<p>右ハ本年荒地免租年期明ノ處地味未熟ニ付相當低價年期御許可相成度割引ノ見込ヲ記シ相願候也</p>	

○滋賀縣告示第四十五號
大阪大林區本年七月二十六日大阪府東成郡西高津村第百八十七番屋敷（移轉セル旨其筋ヨリ通知アリタリ）

明治二十八年八月三日
滋賀縣知事 大越 亨

○滋賀縣告示第四十七號
臨時縣會ノ決議ヲ經テ明治二十八年年度地方稅歲入歲出豫算追加、明治二十八年年度地方稅歲出豫算更正、明治二十八年年度採納寄付物件追加左ノ通之ヲ定ム

明治二十八年八月七日
滋賀縣知事 大越 亨

明治二十八年年度地方稅歲出豫算追加ノ一
（△印ハ朱書）

- 一金百三拾五円四拾九錢九厘
- △內
- △金百拾二円九拾一錢六厘
- △金二拾二円五拾八錢三厘
- 一金九千八百七拾円九拾九錢七厘
- △內
- △金九千六百拾一円二拾六錢八厘
- △金二百五拾九円七拾二錢九厘
- △內 譯
- 金二千三百拾六円六拾八錢七厘
- 金七千五百五拾四円三拾一錢
- 一金六百二拾五円六拾錢五厘

- 滋賀縣知事 大越 亨
- 警察廳舎建築修繕費
- 但 修 繕 費
- 地 方 稅
- 國庫下渡金
- 土 木 費
- 地 方 稅
- 寄 付 金
- 道 路 橋 梁 費
- 治 水 堤 防 費
- 縣 會 議 諸 費

内 譯

金六百二十四拾錢

金二拾二円七拾錢五厘

一金七千四百拾六円六拾二錢九厘

内 譯

金百五拾四円七拾二錢九厘

金七千二百六拾二円

一金三百六拾円

一金二百二拾七円七拾五錢五厘

一金千九百九拾四円拾八錢四厘

合計金二万六百三拾四円七拾六錢九厘

明治二十八年年度地方稅歲入豫算追加ノ一

一金一万三千七百二拾三円四拾二錢四厘

一金五千六百九拾三円八拾六錢四厘

一金七百五拾八円一錢七厘

内 譯

金七百五十円二十五錢

金七円七拾六錢七厘

一金二拾二円五拾八錢三厘

雜給

衛生及病院費

驅癘院費

傳染病豫防費

郡吏員給料旅費及廳中諸費

但 雜給

地方稅取扱費

但町村交付金

豫備費

地租割割

戶數割割

雜收入

衛生及病院費雜入

預金利子

國庫下渡金

寄付金

一金二百五拾九円七拾二錢九厘

合計金二万四百五拾七円六拾一錢七厘

外

△金百七拾三円拾五錢二厘

△通計金二万六百三拾四円七拾六錢九厘

明治二十八年年度地方稅歲出豫算更正

△現豫算金二万二千五百拾一円七錢九厘

一金二万二千三百三拾七円九拾二錢七厘

明治二十八年年度採納寄付物件追加

一鐵製高欄及什屬品

阪田郡長濱町曳山組總代加藤和三朗外三名ヨリ長濱道大手橋高欄トシテ寄付

一地所 一反五畝十二歩

蒲生郡馬淵村大字淨土寺山深駒吉外十四名ヨリ日野川堤防修繕ニ要スル敷地トシテ寄付

右採納ノ上指定ノ使用ニ充ツ

明治二十八年年度地方稅歲出豫算追加ノ二

一金五千八百四拾八円四拾二錢五厘

衛生及病院費

但傳染病豫防費

地方稅取扱費

但町村交付金

一金七拾四拾八錢五厘

合計金五千九百拾八円六拾一錢

明治二十八年年度地方稅歲入豫算追加ノ二

一金四千六百六拾三円九拾八錢七厘
一金千七百五拾四円六拾二錢三厘
合計金五千九百八拾八円六拾一錢

地租割割
戸數割割

○滋賀縣告示第五十二號

明治二十五年^四本縣告示第三十二號陸軍召集旅費支給場所及區域中滋賀郡並甲賀郡ニ係ル區畫左ノ通改ム

明治二十八年八月十四日

滋賀縣知事 大越 亨

召集旅費支給場所	郡名	區	域
滋賀郡役所	滋賀	全郡各町村	
甲賀郡役所	甲賀	水口町 鮎河村	大野村 土山村 山内村
甲賀郡三雲村大字三雲第二十三番屋敷	甲賀	柏木村 石部村	伴谷村 三雲村 下田村 北栢村 岩根村 貴生川村
甲賀郡寺庄村役場	甲賀	佐山村 龍池村	大原村 寺庄村 油日村 南柚村 宮村
甲賀郡長野村役場	甲賀	雲井村 多羅尾村	長野村 小原村 朝宮村

(參照) 滋賀縣告示第三十二號陸軍召集旅費支給場所及區域(明治二十五年四月三十日公報)抄録

召集旅費支給場所	郡名	區	域
滋賀郡役所	滋賀	石山村 下阪本村	膳所村 大津町 滋賀村 阪本村
滋賀郡堅田村役場	滋賀	唯琴村 和源村	仰木村 高川村 坂田村 小松村 伊香立村
甲賀郡役所	甲賀	水口村 山内村	大野村 佐山村 土山村 鮎河村
甲賀郡三雲村大字三雲第二十三番屋敷	甲賀	石部村 寺庄村	三雲村 大原村 油日村 南柚村 岩根村 貴生川村 龍池村
甲賀郡長野村役場	甲賀	雲井村	長野村 朝宮村 小原村 多羅尾村

○滋賀縣告示第五十三號

本縣下非常水害ノ賑憫然ニ被 恩召
聖上

兩陛下ヨリ金五百円御下賜ニ付目下救恤ノ補助ニ充ツヘキ旨宮内大臣ヨリ達セラレタリ

明治二十八年八月十六日

滋賀縣知事 大越 亨

○滋賀縣告示第五十六號

常設委員會ノ決議ヲ經テ明治二十八年年度地方稅歲入歲出豫算左ノ通り追加ス
明治二十八年八月二十八日

滋賀縣知事 大越 亨

明治二十八年年度地方稅歲出豫算追加

一金四万三百五拾九円拾三錢

一金四百九拾円七拾三錢九厘

合計金四万八百四拾九円八拾六錢九厘

明治二十八年年度地方稅歲入豫算追加

一金二万八千六百八円六錢一厘

一金一万二千二百四拾一円八拾錢八厘

合計金四万八百四拾九円八拾六錢九厘

○滋賀縣告示第六十五號

水利組合條例ニヨリ左ノ普通水利組合ヲ設置ス

明治二十八年十一月十六日

名 稱

二之井郷普通水利組合

區 域

犬上郡多賀村

大字敏満寺

字青龍山

字大谷ノ内

三番ヨリ
八番マテ

土 木 費

但治水堤防費

地方稅取扱費

但町村交付金

地 租 割

戸 數 割

滋賀縣知事 大越 享

字蛭子谷ノ内 十三番

字石万谷ノ内 十六番十七番
十九番

字横峯

字谷田ノ内 三十番三十六番ヨリ
四十二番マテ

字風呂ノ内 四十三番

六十五番

字北谷ノ内 四十四番

四十六番

字西谷ノ内 六十七番

字南谷ノ内 三百七十番三百七十一番三百七十五番三百八十番
三百八十八番ヨリ三百九十一番マテ

字原田ノ内 三百八十一番ヨリ三百八十七番マテ三百九十四番ヨリ四百七番マテ四百九
番ヨリ四百三十六番マテ四百三十八番四百五十一番ヨリ四百五十四番マテ

四百五十六番ヨリ四百六十二番マテ四百七十五番ヨリ四百七十八番マテ四百八十番マテ
百八十一番四百八十三番ヨリ五百一十一番マテ五百三十三番五百四十五番ヨリ五百四十一
番マテ五百四十三番ヨリ五百四十五番マテ

字斧磨ノ内 四百三十九番
四百四十一番

字澁谷ノ内 四百四十二番ヨリ
四百四十七番マテ

字打角ノ内 四百六十五番四百六十六番
四百六十九番

字仲町ノ内 七百五十五番ヨリ
 七百六十九番マテ
 八百三十二番八三十五番ヨリ
 八百三十七番マテ八百九十三番
 千七百三十八番ヨリ千五百五十三番マテ千五百五十五番千五百五十六番
 千七百七十六番千八百八十六番千八百八十七番
 千九百九十四番千二百番ヨリ千二百九番マテ千二百一十一番千二百一十二番千二
 百九十五番ヨリ千二百二十三番マテ千二百三十四番ヨリ千二百
 四十番マテ千二百五十一番千二百五十二番千二百五十六番ヨリ千二百六十番マテ千
 二百六十三番ヨリ千二百六十九番マテ千二百七十二番ヨリ千二百八十八番マテ
 千二百八十九番ヨリ千二百九十四番マテ千二百九十六番千二百九十七番千
 二百九十八番ノ一千二百九十九番ヨリ千三百三番マテ千三百一十一番ヨリ千
 三百五十三番マテ
 字堂立ノ内 千三百五十四番ヨリ
 千四百五十九番マテ
 字春場ノ内 千四百六十番ヨリ
 千四百九十九番マテ
 字粕地蔵ノ内 千五百番ヨリ千五百十三番マテ千五百四十四番ヨリ千五百六十四番マテ
 千五百六十六番ヨリ千五百七十七番マテ
 字犬掛ケノ内 千五百十四番ヨリ千五百二十一番マテ千五百三十番ヨリ千五百四十三番マ
 テ千五百七十一番ヨリ千六百十四番マテ千六百十五番千六百六十八番ヨ
 リ千六百七十三番マテ千六百七十七番千六百七十九番ヨリ千六百八十二番マテ
 字耳草ノ内 千五百二十二番ヨリ千五百二十九番マテ
 千六百十五番ヨリ千六百二十九番マテ
 字江入

字五反地ノ内 千七百九番ヨリ千七百十五番マテ千七百十七番千七百十八番千七百二十番
 ヨリ千七百二十八番マテ千七百三十一番ヨリ千七百四十八番マテ
 字八丁堂ノ内 千七百四十九番ヨリ
 千七百九十三番マテ
 字天塚ノ内 千七百九十四番ヨリ千八百二十八番マテ千八百三十番ヨリ千八百三十五番
 マテ千八百三十八番ヨリ千八百六十三番マテ
 字尻林ノ内 千八百六十四番ヨリ千八百六十八番マテ千八百七十二番ヨリ千八百八十四
 番マテ千八百八十六番ヨリ千八百八十八番マテ千八百九十番ヨリ千九百三
 十七番マテ
 字高畑ノ内 千九百四十一番ヨリ千九百四十六番マテ千九百五十六番千九百五十八番ヨ
 リ千九百六十六番マテ千九百七十四番マテ千九百七十八番ヨリ千九百八十二番マ
 テ千九百九十六番ヨリ千九百九十八番マテ千九百九十九番ヨリ千九百九十九番
 マテ千九百九十九番マテ
 字青柳ノ内 二千八十七番ヨリ二千二百五番マテ二千二百七番ヨリ二千二百二十五番マテ
 二千二百二十七番ヨリ二千三百三十四番マテ
 大字鏡木
 字宮地
 字二反地
 字常野ノ内 二十二番ヨリ三十番マテ
 三十二番
 字樋掛リ
 字溝畑
 字八反長
 字森

字柿ノ町

字六反長

字芋畑ノ内

字川原畑

字木ノ下

字四反長ノ内

字杉ノ本

字居町

字西畑ノ内

字久田

字見上

字古居代

字中ノ切

字流ノ内

字外流ノ内

字墓立ノ内

字保ノ町

大字多賀

八十七番ヨリ
九十四番マテ

百二十七番ヨリ
百三十三番マテ

二百三十二番

二百七十七番ノ一
二百七十八番ヨリ

二百九十八番ヨリ
三百番マテ

三百三十三番ヨリ
三百六十六番マテ

三百七十七番ヨリ
三百八十八番

三百九十二番

字切岸

字新谷前ノ内

字横池ノ内

字飯森木ノ内

字粕地蔵

字杉立

字下ヶ久道

字下横田

字フケノ内

字上横田

字打込ノ内

字尼子町ノ内

九番ヨリ千

百三十六番

千三百三十七番

千三百三十九番

千四百四十番

千四百四十五番

千四百五十番

千四百五十五番

千四百六十番

千四百六十五番

千四百七十五番

千四百八十五番

千四百九十五番

千五百零五番

千五百一十五番

千五百二十五番

千五百三十五番

千五百四十五番

千五百五十五番

千五百六十五番

千五百七十五番

千五百八十五番

千五百九十五番

管理者

犬上郡多賀村長

○滋賀縣告示第六十八號

明治二十七年三月本縣告示第十八號看守採用試驗細則第七條左ノ通改正ス

明治二十八年十一月二十七日

第七條 看守志願者ニシテ左ニ記載スルモノハ體格檢査ノミヲ行ヒ採用スルコトアルヘシ

一 曾テ看守長看守副長又ハ陸海軍監獄看守長ノ職ヲ奉シタルモノ

二 看守精勤證書ヲ有スルモノ

三 陸海軍現役滿期下士以上ノモノ

四 陸軍兵卒ニシテ現役滿期トナリ又ハ戰時召集ヲ解除セラレ下士適任證書ヲ有スルモノ

〔差附〕 滋賀縣告示第十八號(明治二十七年三月十七日公報)抄録

第七條 看守精勤證書ヲ有スル者及曾テ看守長タリシ者ハ體格檢査ノミヲ行ヒ採用スルコトアルヘシ

○滋賀縣告示第七十五號

臨時縣會ノ決議ニ依リ内務大臣ノ認可ヲ經テ 自明治二十八年年度地方稅土木費中災害土木費支出豫算左

ノ通之ヲ定ム

明治二十八年十二月十一日

自明治二十八年年度地方稅土木費中災害土木費支出豫算

至明治二十九年年度

一金十五万七千八百四十四圓六錢八厘

内 金二万九千八百四十圓三十八錢五厘

金十二万七千二百四十三圓六十八錢三厘

滋賀縣知事 大越 亨

土木費中

災害土木費

道路橋梁費
治水堤防費

此 譯

金六万二千八百三十三圓六十二錢七厘

内 金一万九千九百三十六圓十五錢四厘

金五万八千九百九十七圓四十七錢三厘

金九万四千二百五十四圓四十四錢一厘

内 金一万七千九百四十四圓二十三錢一厘

金七万六千三百四十六圓二十一錢

明治二十八年年度支出額

道路橋梁費

治水堤防費

明治二十九年年度支出額

道路橋梁費

治水堤防費

○滋賀縣告示第七十六號

臨時縣會ノ決議ニ依リ内務大臣ノ認可ヲ經テ災害土木費借入及償還方法左ノ通之ヲ定ム

明治二十八年十二月十一日

災害土木費借入及償還方法

第一條 自明治二十八年年度 至明治二十九年年度 地方稅土木費中災害土木費ニ使用スル爲メ備荒儲蓄金ヨリ金十四万圓ヲ借

入ル、モノトス

第二條 本借入金ハ之ヲ二回ニ分チ明治二十八年年度金四万六千三百圓同二十九年年度金九万三千七

百圓ヲ借入ル、モノトス

第三條 本借入金ハ明治三十年年度ヨリ明治三十七年度ニ至ル八ヶ年度間ニ於テ毎年度金一万七千

五百圓宛年賦ヲ以テ償還スルモノトス

第四條 年賦償還金ハ之ヲ二回ニ分チ毎年度五月十一月ニ金八千七百五十圓宛ヲ支拂フモノトス

第五條 本借入金利子ノ定率ハ一ケ年元金ノ百分ノ五、五(元金百円ニ付五円五十錢)ノ割合トス

第六條 本借入金ノ利子ハ毎年度五月十一日ノ二回ニ前回支拂ノ翌月ヨリ當月迄ノ分ヲ支拂フモ

第七條 本借入金ノ元金償還及利子支出ノ爲メ明治二十九年ヨリ當月迄ノ分ヲ支拂フモノトス

○滋賀縣告示第七十七號

臨時縣會ノ決議ヲ經テ明治二十八年年度地方稅歲入歲出豫算更正追加及備荒儲蓄歲入歲出豫算追加

左ノ通之ヲ定ム

明治二十八年十二月十一日

滋賀縣知事 大 越 亨
〔△印ハ朱書〕

△現豫算金十四万三千三百三十四円六十五錢八厘

△金十二万九千六百六十二円八錢六厘

△現豫算金十四万二千三百二十五円二十二錢九厘

△金十二万八千八百五十六円六十五錢七厘

△現豫算金十一万二千二百九十三円七十一錢一厘

△金九万八千八百二十五円十三錢九厘

△現豫算金十一万二千二百九十三円七十一錢一厘

△金九万八千八百二十五円十三錢九厘

△現豫算金十一万二千二百九十三円七十一錢一厘

△金九万八千八百二十五円十三錢九厘

土 木 費
地 方 稅

治水堤防費

縣 會 議 諸 費

金四百九十三円四十二錢

金二十一円七錢

金四百四十九円七十五錢六厘

金十四円五十九錢九厘

合計金六百七十八円八十四錢五厘

外

△金六万二千八百三十三円六十二錢七厘

△通計金六万三千五百三十二円四十七錢二厘

△明治二十八年年度地方稅歲入豫算追加

△金三千七百四十三円九十錢

△金四万六千三百円

△合計金五万四千三百九十錢

外

△金一万三千四百六十八円五十七錢二厘

△通計金六万三千五百三十二円四十七錢二厘

△明治二十八年年度備荒儲蓄金歲出豫算追加

△金十万二千六百八十八円五十錢五厘

雜 給
雜 費
地方稅取扱費
但町村交付金
豫 備 費

土木費中災害土木費本年度支出額

戶 數 割

但明治二十八年三月一日現在戶數十三万二千五百九十九戸ノ内免除二屬ノモトノ戸數千五百九十九戸ヲ控除シ殘存戸數十二万九千九百一戸ニ付金二錢九厘

備荒儲蓄金借入

土木費更正剩餘金

備荒儲蓄金支出

内 譯

金三万七千六百七十五円九十二錢五厘

金一万六千二百九十二円五十八錢

金四万六千三百円

明治二十八年年度備荒儲蓄金歳入豫算追加

一金十万二千六百八十八円五十錢五厘

内 譯

金四万三千九百八十八円六十六錢八厘

金五万六千三百五十九円八十三錢七厘

救 助 費

地 租 貸 與

土 木 費 貸 出 金

備 荒 儲 蓄 金 收 入

中 央 補 助 金

公 債 證 書 賣 却 代

○滋賀縣諭示第四號

傳染病豫防ノ義ニ就テハ各町村各自ニ於テモ能ク其自衛ニ意ヲ致シ屬々清潔法ヲ行フ等衛生上施
設スル所少カラス爲メニ先般來本縣ト交通最モ頻繁ナル京都大阪地方ニ於テ虎列刺病發生シ漸次
蔓延ノ兆アルニモ抱ハラス縣下ニ於テハ同患者ノ發生ヲ見ルニ至ラザリシ然ルニ昨今ニ至リ俄ニ
同患者三十三名ヲ發生セリ是レ畢竟梅雨漸ク晴レ暑氣日ニ加ハルノ時ニ際シ氣候ノ激變ト共ニ病
毒ノ頓ニ萌動繁殖ヲ來セシ因由ナルヘシト雖モ此際各町村各個人ニ於テ益々警戒ヲ嚴ニシ病毒ノ
侵襲ヲ受ケザランコトヲ力ムルハ最モ肝要ナリトス就テハ家屋其他溝渠等ヲ清潔ナラシメ又飲食
ニモ深ク意ヲ用ヒ力メテ自衛ノ法ヲ講シ万一ニモ吐瀉又ハ下痢ヲ發スルトキハ速ニ醫師ノ治療ヲ
乞フヘシ若シ赤貧ニシテ醫療ヲ受クルコト能ハサルモノハ町村役場又ハ衛生組長ニ申出町村醫
診療ヲ受ケ假初ニモ傳染病ノ疑ヒアルモノヲ等閑ニ付シ之レカ手當ヲ怠ルトキハ其害ノ及フトコ
ロ畜ニ其身一人ニ止マラス延テ一家一町村ニ蔓延シ終ニ救フヘカラサルノ慘狀ヲ呈スルニ至ルハ
既往其例ニ乏シカラス若シ斯ノ如キ不幸ニ陥ルコトアリテハ實ニ容易ナラサル義ニ付各自豫防上
一層戒慎ヲ加ヘ不測ノ災厄ニ罹リ其身ヲ過リ禍害ヲ公衆ニ及ホスガ如キコト無キ様厚ク注意スヘ
シ此旨特ニ諭示ス

明治二十八年八月十四日

滋賀縣知事 大 越 亨

○滋賀縣諭示第五號

霖雨洪水ノ後ニアリテハ衛生上特ニ注意ヲ要セサレハ身体ノ健康ヲ害シ百種ノ疾病ヲ誘發スルハ
之ヲ既往ニ徴シテ昭ナリ加崩目下最モ怖ルヘキ虎列刺赤痢等ノ傳染病各地ニ流行シ縣下ニ於テモ
既ニ蔓延ノ徵ヲ現セリ若シ一朝此等疫癘ノ水災地方ヲ侵襲スルコトアラハ忽チ傳播猖獗ヲ極メ竟
ニ非常ノ慘狀ヲ呈スルヤ疑ヲ容レヌ宜シク深ク相警シメ衛生上善後ノ處置ヲ怠ラス以テ水災ノ
慘狀ニ加フルニ病災ノ悲況ヲ以テスルノ不幸ニ陥ラザランコトヲ期スヘシ今左ニ衛生上注意スヘ

キ要領ヲ示ス能ク之ヲ遵守スヘシ

明治二十八年八月十四日

滋賀縣知事 大越 亨

(一) 家屋及周圍ノ處置

- 一 疊蓆戸障子等ハ拭淨又ハ洗滌シ日光ニ當テ充分乾燥セシムヘシ
- 一 柱梁天井壁床板等ハ拭淨又ハ洗滌シ充分乾燥セシメ晴天ノ日ハ窓障子雨戸等總テ開放シテ空氣ノ流通ヲ良クシ必要ノ場合ニハ火力ヲ用ヒテ乾燥セシムヘシ
- 一 風通シノ悪シキ家ニ於テハ適宜通風口ヲ設ケ充分空氣ヲ流通セシムヘシ
- 一 土間及床下ノ溜溜水ヲ排除シ淤泥塵芥等ヲ取除キ石灰又ハ乾キタル砂若クハ眞土ヲ厚ク散布スヘシ肥土等ハ用ユヘカラス
- 一 家ノ周圍ニアル淤泥塵芥ハ勿論軒下ニ古木藁等積置ケルモノハ悉皆取除キ充分風當リテ頁クシ汚水ノ溜溜セル場所ハ土砂ニテ填充スヘシ
- (二) 井戸及便所ノ處置
 - 一 先ツ井戸近傍ノ汚物塵芥等ヲ取除キ汚水ノ溜溜シタル場所ニハ成ヘク生石灰ヲ投シテ汲出スヘシ
 - 一 井戸水ハ汲出シテ其水量ノ減シタルトキ成ヘク生石灰ヲ投シテ攪拌シ其水ニテ井戸側ヲ能ク洗ヒ汲干シテ泥土ヲ浚ヒ水ノ充分清澄ニ至ルマテ幾回ニテモ汲出シタル上使用スヘシ

(三) 衣服臥具器具ノ處置

- 一 井戸側及流シ元ノ破損シタル所ハ修繕ヲ加ヘ汚水ノ井中ニ滲透セサル様ニスヘシ
- 一 便所ハ成ヘク石灰乳(生石灰一分水九分ノモノ)ヲ投シ攪拌シタル後汲出スヘシ
- 一 糞池ノ周圍ハ充分掃除シ成ヘク生石灰ヲ撒布スヘシ
- (三) 衣服臥具器具ノ處置
 - 一 衣服臥具ノ類ハ充分乾燥スヘシ其一旦浸水シタルモノハ必ス熱湯ニテ洗濯スヘシ
 - 一 家具ノ類ハ能ク拭淨シ日光ニ晒スヘシ飲食器具ハ煮沸又ハ熱湯ニテ洗滌スヘシ
- (四) 各自身体ノ衛生
 - 一 家ノ内ニ濕氣ノ去ラサル間ハ二階造リノ家ナレハ成ヘク二階ニ寢臥シ然ラサレハ濕氣ノ少ナキ室ヲ撰ミ毛布吳座等ヲ敷キテ寢ヌヘシ且夜間窓障子等ヲ開キテ寢ヌヘカラス
 - 一 荷々温浴又ハ水浴ヲナシ成ヘク身体ノ清潔ヲ保チ且腹部ヲ冷却セサル様注意スヘシ
 - 一 飲食物ハ新鮮ナルモノヲ撰ミ且煮熟シテ用フヘシ不熟物不消化物生水等ハ飲食スヘカラズ

○ 滋賀縣諭示第六號

本年流行ノ虎列刺病ハ一時猖獗ヲ極メントスルノ兆アリシモ幸ニ甚シキ慘狀ヲ呈スルニ至ラス漸

次減退ニ傾キタリト雖モ近府縣ニ於テハ尙ホ日トシテ患者ノ發生ヲ見サレナキヲ以テ未ダ遽カニ安スヘキノ時ニ非サルノミナラス目下赤痢病ハ縣下各地ニ發生傳播シ殊ニ本月ニ至リテ頗ニ多數ノ患者ヲ出セリ即チ本年初發以來九月十六日ニ至ル患者八百六十四人死者百六十九人ニシテ益蔓延セントスルノ狀況アリ元來赤痢ハ其病勢虎列刺病ノ猛烈ナルニ似ス頗ル緩漫ニシテ其經過久シキニ互ルヲ以テ從テ病毒ヲ撒播布セシメ害毒ヲ流スコト虎列刺病ヨリ尙ホ甚シキモノナルニモ拘ハラス却テ各人ノ注意慎重ヲ欠クノ憾ナシトセス依テ此際各自相戒メ衛生上特ニ注意ヲ要スルハ勿論豫防消毒ノ施設ニ就テハ嚴密周到チ期シ患者發生ノ場合ニ於テハ直チニ隔離法ヲ行ヒ以テ速ニ病毒ヲ勦滅セシムル機厚ク注意スヘシ

明治二十八年九月二十一日

滋賀縣知事 大越 亨

○滋賀縣諭示第七號

本年流行ノ虎列刺病赤痢病ハ氣候ノ寒冷ニ伴ヒ今ヤ衰退ノ狀ヲ呈シ殆ント終熄ヲ告ントスルニ至レリ此時ニ乘シ各人銳意以テ病毒ヲ勦滅スルニ非サレバ其餘藥ヲ翌年ニ殘シ一大慘害ヲ來スヘキハ亦明ナリ依テ此際患者アリシ家屋ハ勿論其近隣ニ於テモ消毒の清潔法ヲ施行シ以テ町村ノ施設ト相俟テ餘毒ノ撲滅チカムルヲ要ス今左ニ施行ノ要項ヲ舉示ス各人能ク之ヲ遵守スヘシ
明治二十八年十一月三十日 滋賀縣知事 大越 亨
一 下水溝渠ハ(内部ニ專ラ)石灰乳ヲ撒布シ攪拌後成ヘク一晝夜間ハ水ヲ通セシメス其儘放置シ而ル後浚渫掃除ヲ爲スコト
一 流シ下其他家屋近傍ノ濕地ニハ石灰乳ヲ撒布スルコト
一 糞池及汚水溜ニハ石灰乳ヲ投シ攪拌シ汲出シタル上其内部周邊ニ石灰乳ヲ撒布スルコト
一 飲用水路井戸ハ浚渫シ其近傍ヲ清潔ナラシムルコト
一 前各項中破損ノ箇所ニハ修繕ヲ加フルコト

一 吸込下水及必要ナラサル下水溝渠等ハ石灰乳ヲ投シ可成埋却スルコト
一 下水溝渠等ニアラスシテ悪水ノ溜溜スル場所ニハ土砂ヲ埋ムルコト
一 床下ノ塵芥ヲ除去シ砂又ハ石灰ヲ撒布シ疊チ揚ケテ日光ニ曝シ板間ハ成可昇永水ニテ拭淨スヘキコト

一 風呂場及便所ノ床板等ハ石灰乳撒布シ凡一時間ヲ經テ洗滌スルコト
一 家屋内全部ノ掃除ヲナシ建具ヲ外シ日光ヲ射入シ大氣ヲ流通セシムルコト
一 床下其他ノ塵芥ハ一定ノ場所ニ集メ燒却スルコト
一 衣服臥具ハ充分日光ニ曝シ其汚染シタルモノハ洗滌スヘキコト
一 飲食器具ハ煮沸スルカ又ハ拭淨若クハ日光ニ曝スコト

○滋賀縣訓令第三十九號

虎列拉流行蔓延ノ兆候アルニ付此際吐瀉又ハ下痢ノ患者ニシテ身元貧困ノ爲メ醫療ヲ受クルコト能ハサルモハ町村醫ヲシテ治療セシメ其藥價町村稅ヲ以テ支辨スヘキ様取計フヘシ

明治二十八年七月十四日

○滋賀縣訓令第四十號

虎列刺病患者發生ノ家屋ニ交通遮斷ヲ爲シタルトキハ其遮斷解除ノ時ハ勿論遮斷中ハ時々町村醫ヲシテ診察セシメ其感染發病ノ有無ニ注意スヘシ

明治二十八年七月二十七日

○滋賀縣訓令第四十一號

經費節減ノ爲メ來ル十三日以降當分賄費給與ヲ停止ス

明治二十八年八月十日

○滋賀縣訓令第四十二號

諸貸付金報告手續左ノ通之ヲ定ム

但明治二十三年九月滋賀縣訓令第二百十號據置貸取扱心得ハ自今廢止ス

明治二十八年九月二十五日

諸貸付金報告手續

第一條 大藏省所管ニ係ル諸貸付金ハ左ノ二種トス

郡 役 所 町村 役場

滋賀縣知事 大越 亨

郡 役 所 町村 役場

滋賀縣知事 大越 亨

知事 官房 部 署 收稅部

滋賀縣知事 大越 亨

郡 役 所 町村 役場

滋賀縣知事 大越 亨

- 一 雜種貸 返納期限ノ一定シタルモノ
- 二 据置貸 債務者失踪死亡ハ無資力等ニ因リ
目下義務ノ履行ヲ受ケ難キモノ
- 第三條 郡長町村長ハ前條ノ區別ヲ爲シ其臺帳ヲ設備スヘシ
- 第四條 債務者又ハ保證人縣下他町村ヘ轉居シタルトキハ町村長ハ其借務額若クハ必要ナル事項ヲ轉居先ノ町村長ニ通知シ同時ニ知事ニ報告スヘシ
- 第五條 町村長ハ借務者又ハ保證人ニ對スル左ノ事項ハ即日知事ニ報告スヘシ
 - 一 改姓名但本籍者ハ戶籍寫ヲ添付シ寄留者ハ許可ノ年月日ヲ附記スヘシ
 - 二 他管下ヘ轉居シタルトキハ年月日及地名ヲ附記スヘシ
 - 三 死亡若クハ相續人ヲ定メタル年月日但本籍者ハ戶籍寫ヲ添付スヘシ
 - 四 失踪若クハ復歸又ハ所在發見ノ年月日但本籍者失踪ノ場合ハ戶籍寫ヲ添付スヘシ
 - 五 家資分散若クハ破産ノ宣告ヲ受ケ又ハ復權シタル年月日
 - 六 治産ヲ禁セラレ又ハ復權シタル年月日
 - 七 後見人設定若クハ解除ノ年月日但本籍者ハ戶籍寫ヲ添付シ寄留者ハ生年月日ヲ附記スヘシ
 - 八 全部若クハ一部ヲ返納シ得ヘキ資力ヲ生シタリト認メタルトキ但財産調書ヲ添付スヘシ
 - 九 義務ノ移轉ニ係ルトキハ其事由但繼承者ノ財産調書ヲ添付スヘシ
- 第五條 町村長ハ毎年三月三十一日ニ於テ借務者若クハ保證人ニ係ル身代ノ實況ヲ調査シ左ノ事項ヲ詳悉シ知事ニ報告スヘシ
 - 一 職業及其狀況
 - 二 財産ノ件名數量及價格
 - 三 他ノ借權者ニ提供スル擔保物件名及借務額

- 四 一箇年ノ所得金高
 - 五 地方稅戶數割若クハ町村稅戶別割ノ町村等級及本人ノ等級並ニ負擔額
 - 六 全部ノ返納又ハ一分ノ内納ヲ爲シ得ヘキヤ否
 - 其他身代ノ實況ヲ知悉シ得ル事項
- 滋賀縣訓令第四十三號

華族ニシテ養子女縁離縁復籍及轉住等ノ節町村長ニ於テ其送入簿ノ手續ヲ了シタルトキハ直ニ其住所氏名及異動ノ要領ヲ郡長ニ報告シ郡長ニ於テ之カ報告ヲ受ケタルトキハ速ニ其官宮内省爵位局ヘ通牒スヘシ

明治二十八年十月二十六日
○滋賀縣訓令第四十四號

滋賀縣知事 大越 亨
郡 役 所 町村 役 場
部 署 郡 役 所
警 察 署 警 察 分 署
町 村 役 場

本年^五本縣訓令第三十號檢疫所職務規程ヲ廢ス
明治二十八年十月三十一日
○滋賀縣訓令第四十五號

滋賀縣知事 大越 亨

明治二十五年^六本縣訓令第二百二十一號徵兵事務取扱手續中左ノ通改正ス
明治二十八年十一月二日
第二條及第五條第十四條第十六條第十七條ヲ削リ第三條ヲ第二條トシ以下逐次繰上ク

郡 役 所 町村 役 場
滋賀縣知事 大越 亨

第三條中「徵兵規程第三條第四條ニ當ル陸海軍諸生徒ノ人名及」ノ二十三字ヲ削ル

第四條中「第二十條」ヲ「第二十二條」ニ「第六十八條」ヲ「第六十六條」ニ改ム

第九條中「醫生」ノ二字ヲ削リ「代言人」ヲ「辨護士」ニ改ム

第十條及第十一條ヲ左ノ通改ム

第八條 徵兵令第四十一條ニ當リ徵集ス可キ者若クハ徵兵規程第十四條第十五條ニ當ル者アルトキハ町村長ハ速ニ壯丁名簿ヲ作り郡長ニ差出ス可シ

本條及徵兵事務條例施行細則第三十二條ノ壯丁名簿ニハ町村長ニ於テ各其徵集ニ應ス可キ事由ヲ記シタル報告書ヲ作り之ヲ添フ可シ

第九條 郡長ニ於テ徵兵事務條例施行細則第二十九條第二項ニ當ル者ノ壯丁名簿若クハ檢査名簿若クハ同第三十二條又ハ前條第一項ノ壯丁名簿ヲ受領シタルトキハ之ヲ調査シ其徵兵令第四十一條ニ當リ徵集ス可キ者ハ假決區畫ニ其他ハ備考區畫ニ各異動又ハ徵集ノ事由ヲ摘書シ大隊區徵兵署ニ提出ス可シ

第十二條第一項中「第十二條第十三條第十四條第十五條第十六條第十七條」ヲ「第八條第三項若クハ第九條第十條」ニ改メ同條第二項ヲ削リ同條第三項中「第十二條」ヲ「第八條」ニ改ム

第十三條第一項中「第十二條」ヲ「第八條」ニ「同第十三條」ヲ「同第九條」ニ改ム

第二十二條中「第十一條」ヲ「第七條第二項」ニ改ム

第二十五條中「第五十四條」ノ五字ヲ削リ「第六十一條第六十五條」ヲ「第六十三條」ニ改ム

第二十六條中「新兵」ヲ「現役兵」ニ「豫備徵員」ヲ「補充兵」ニ改ム

第二十七條中「新兵」ヲ「現役兵」ニ改ム

第二十八條中「新兵」又ハ「現役兵豫備徵員」ヲ「現役兵入營前若クハ在營中又ハ補充兵」ニ改ム

第二十九條中「新兵及現役兵并豫備徵員」ヲ「現役兵入營前及在營中并補充兵」ニ改ム

第三十條中「前各條」ヲ「第二十三條」ニ改メ及其他ノ名簿ノ六字ヲ削ル

第三十一條中「新兵」ヲ「現役兵」ニ「豫備徵員名簿」ヲ「第一補充兵名簿第二補充兵名簿」ニ「第十八條第十九條第二十條第二十一條」ヲ「第二十條第二十一條第二十二條第二十三條」ニ當ル者ニ改ム

第三十四條中「新兵」ヲ「現役兵」ニ「豫備徵員」ヲ「補充兵」ニ「知事」ヲ「旅管徵兵官」ニ改ム

第三十條 徵兵事務條例及徵兵事務條例施行細則中郡長若クハ町村長ヨリ通知又ハ報告ス可キ事項ニシテ其期限ノ規定ナキモノハ速ニ之カ手續ヲ爲ス可シ

第一書式第十三行中「年月日陸海軍某學校ニ入學三箇年以上ニシテ退學」ヲ削ル

第四書式種別ノ區畫中「令第二十一條」ヲ「令第二十三條一項」ニ「令第四十六條二項」ヲ「令第十三條五項」ニ「令第十八條」ヲ「令第二十條」ニ「令第二十一條」ニ「令第二十條」ヲ「令第二十二條」ニ「令第四十六條一項相當」ヲ「令第四十一條」ニ依リ徵集ノ者ニ「條例第七十一條」ヲ「條例第六十九條」ニ改ム

第五書式種別ノ區畫中「外國留學」ヲ「外國」ニ在ル者ニ改メ「逃亡」ノ次ニ「疾病不參」ノ一區畫ヲ設ク

第六書式中「府(縣)郡(市)町(村)大字何」ニ改ム

(參照) 滋賀縣訓令第百二十一號徵兵事務取扱手續(明治二十五年六月二十九日公報)抄録

第二條 町村長ハ壯丁名簿進達前他ノ徵集區ニ於テ應徵顯出ノ者アルトキハ其壯丁名簿ヲ本籍地ノ郡長ニ差出ス可シ

第五條 徵兵令第二十一條第二項ニ當リ徵集顯出タル者ニシテ公使又ハ領事ノ證明書ヲ其期限内ニ差出サル者アルトキハ郡長ヨリ其旨ヲ詳記シ知事ノ證明ヲ請フ可シ

第十四條 徵兵規程第十五條第十六條ニ當ル者ノ中他ノ徵集區ニ轉籍スル者アルトキハ郡長ハ速ニ其名簿ヲ添ヘ轉籍地ノ島司又ハ郡市長ニ通知ス可シ

明治二十八年中 訓令

其検査後旅費徴兵署開設前ニ係ルモノハ書記官ヨリ其名簿ヲ舊住地郡長ニ送付スルヲ以テ舊住地郡長ハ之ヲ新住地ノ島司又ハ郡市長ニ送付ス可シ

第十六條 郡長ハ他ノ徴募區ニ寄留シ其地ニ於テ身體検査ヲ受クルノ願ヲ許可シタルトキハ速ニ其壯丁名簿若クハ前年假決名簿ヲ寄留地ノ島司郡市長ニ送致ス可シ

其徴募區外ヨリ寄留スル者ノ身體ヲ検査シタルトキハ速ニ其検査名簿ヲ本籍地ノ島司郡市長ニ送付ス可シ

第十七條 郡長ハ寄留地願徴願許可ノ通知ヲ受ケタルトキハ速ニ本人寄留地ノ町村長ニ達ス可シ

第三條 徴兵規程第三條第四條ニ當ル陸海軍諸生徒ノ人名及徴兵事務條例施行細則第二條ノ人名書ハ第一書式ニ依リ之ヲ作ルヘシ

第四條 徴兵令第二十條徴兵事務條例第五十三條第六十八條ノ願出ヲ爲ス者アルトキハ町村長ニ於テ左ノ書類ヲ作り其願書ニ添付スヘシ (書名略ス)

第九條 壯丁ノ職業ハ其實際ヲ調査シ概子左ノ科目ニ照ラシ記載スヘシ (科目前略) 醫生代言人

第十條 徴兵令第四十六條及徴兵規程第十八條第十九條第二十條ニ當ル者アルトキハ町村長ハ速ニ壯丁名簿及異動報告書ヲ作り郡長ニ差出スヘシ

其異動抽籤後ニ係ルトキハ翌年壯丁名簿差達ト同時ニ差出スヘシ

第十一條 郡長ニ於テ徴兵事務條例施行細則第二十九條第二項ノ壯丁名簿若クハ検査名簿若クハ前條ノ壯丁名簿ヲ受領シタルトキハ其備考區圖ニ異動ノ事由ヲ極書シ大隊區徴兵署ニ提出スヘシ

徴兵令第四十六條ニ當リタル者ノ壯丁名簿ハ記載例ニ準シ假決區圖ニ添書スヘシ

第十二條 徴兵規程第十二條第十三條第十四條第十五條第十六條第十七條ニ當ル者アルトキハ町村長ハニ其旨ヲ郡長ニ報告スヘシ

徴兵規程第十五條第十七條第一項ニ當ル者ニシテ其検査後抽籤前ニ係ルトキハ速ニ郡長ヲ經テ旅費徴兵官ニ報告ス可シ

町村長ニ於テ徴兵規程第十二條第一項ノ届書ニ奥書捺印ヲ爲シタルトキハ壯丁名簿ヲ作り即日縣廳ニ差出ス可シ

第十三條 第一項徴兵規程第十二條第三項ニ當ル者及同第十三條中不合格ニ屬スル者アルトキハ郡長ハニ其假決名簿ヲ縣廳ニ差出ス可シ

第十四條 町村長ニ於テ徴兵規程第十一條ノ現役志願願書ヲ受領シタルトキハニ本人ノ志操品行及家計現狀等ノ調査ヲ作り大隊區徴兵官ニ差出ス可シ

第二十五條 徴兵事務條例第五十四條第五十八條第六十一條第六十五條ニ當ル者アルトキハ町村長ハ速ニ其旨ヲ郡長ニ報告スヘシ

第二十六條 新兵入營前又ハ豫備徴員證書ニ關スル異動ヲ生シタル者アルトキハ町村長ハ監視區長ニ通知ノトキ其證書ヲ添付スヘシ

第二十七條 町村長ハ新兵入營當日十日前各自ノ戸籍寫ヲ郡長ニ差出シ郡長ハ之ヲ入營前日迄ニ大隊區司令官ニ送付スヘシ

第二十八條 新兵又ハ現役兵豫備徴員ニシテ住所氏名ニ異動ヲ生シ或ハ死亡シ又ハ退營シタル者アルトキハ町村長ハ速ニ郡長ニ報告スヘシ

第二十九條 新兵及現役兵并豫備徴員ニ係ル報告書若クハ通知書ニハ年度兵種番號等ヲ記載スヘシ

第三十條 郡長ハ前各條ノ報告ニ依リ抽籤名簿及其他ノ名簿ヲ訂正加除スヘシ

第三十一條 町村役場ニ於テハ左ノ名簿ヲ備置キ異動アル毎ニ訂正加除スヘシ

一 近衛(第四)師團新兵名簿

二 豫備徴員名簿

三 徴集猶豫名簿

以上ノ名簿ハ徴兵令第十八條第十九條第二十條第二十一條及一年志願志願兵者并逃亡失踪事故不參等ノ者ヲ部類ヲ分チ壯丁名簿用紙ヲ以テ之ヲ作ルヘシ

第三十四條 新兵並豫備徴員證書及兵役免除證書ヲ失ヒ又ハ損傷シ更ニ下渡ヲ請求スル者アルトキハ郡長ハ之ヲ調査シ知事ニ請求スヘシ

第一書式 (第十三行)

何年徴兵豫備役何兵(年月日陸海軍某學校ニ入學三箇年
以上ニシテ退學)陸海軍某學校退學年月日豫備役編入(以下略ス) 氏 名

第四書式 (檢 別)

令第四十六條ニ依リ徴集ノ者 令第四十六條ニ相相當

前年令第十八條一項相當 前年令第十八條二項相當

前年令第十九條相當 前年令第十九條ニ相相當

令第四十六條一項相當 令第四十六條一項相相當

令第四十六條二項相當 令第四十六條二項相相當

前年令第十八條二項相當 前年令第十八條二項相相當

令第二十條ノ事故止ム者 令第二十條ノ事故止ム者

條例第七十一條相當 條例第七十一條相相當

○滋賀縣訓令第四十六號

郡役所 警察署
町村役場

滋賀縣知事 大越 亨

國民兵召集事務細則左ノ通之ヲ定ム

明治二十八年十一月六日

國民兵召集事務細則

第一條 此細則ニ於テ召集規則ト稱スルハ國民兵召集規則ヲ云ヒ事務準則ト稱スルハ國民兵召集事務準則ヲ云フ

第二條 召集規則第八條第九條中郡トアルハ郡役所ノ行政區域ヲ云フ

第三條 召集規則第十條ノ年齢若キ者トハ生年月ノ順序ニ依ル但同年月生ノ者アルトキハ抽籤ヲ以テ豫メ其順序ヲ定メ置クヘシ

第四條 召集年度ハ毎月四月一日ニ起リ翌年三月三十一日ニ終ル

第五條 國民兵召集事務ハ最モ迅速ヲ要スルヲ以テ召集令ヲ受ケタルトキハ晝夜ヲ分タス之ヲ處辨スヘシ

第六條 事務準則第一項ノ召集名簿ハ第一第二様式ニ同第三項ノ召集人員表ハ第三第四様式ニ準シ之ヲ作ルヘシ

第七條 郡長ニ於テ大隊區司令官ヨリ國民軍編入許可ノ通知ヲ領シタルトキハ直ニ之ヲ町村長ニ通知スヘシ

第八條 國民軍編入ノ許可ヲ受ケタル者ハ召集規則第一條第一種ニ屬スルモノトシ取扱フヘシ

第九條 元現役輻重輸卒タリシ者ト雖モ軍事教育ヲ受ケサリシ者ハ召集規則第一條第一種ニ屬セ

第十條 召集名簿ニ關スル異動(新タニ第一種又ハ第二種ニ入ル者若クハ第一種ニ屬スル者ニシテ滿四十歳ヲ超シタルモノアルトキハ町村長ハ直ニ之ヲ修正加除シ同時ニ其異動ヲ郡長ニ報告スヘシ但第二種ヨリ第三種ニ移ル者及第一種ニ屬スル者ニシテ滿四十歳ヲ超ユルノ異動ハ報告スルヲ要セス

第十一條 召集規則第一條第三種又ハ第四種ニ屬スル者ニシテ召集人員表ニ關スル異動ヲ生シタル者アルトキハ町村長ハ直ニ其増減ヲ郡長ニ報告スヘシ但第二種ヨリ第三種ニ移ル者及徵集免除ニ屬シ第四種ニ入ル者ハ報告スルヲ要セス

第十二條 郡長ニ於テ第十條第十一條ノ報告ヲ領シタルトキ若クハ第二種ヨリ第三種ニ移ル者又ハ徵集免除ニ屬シ第四種ニ入ル者若クハ第一種ニ屬スル者ニシテ滿四十歳ヲ超ユル者等アルトキハ召集名簿及召集人員表ヲ訂正スヘシ

第十三條 召集令傳達書ハ豫メ之ヲ作り置キ異動アル毎ニ訂正スヘシ但志願ニ由リ國民軍ノ幹部ニ充テラレタル者ノ召集令傳達書ハ第五様式ニ依リ之ヲ作ルヘシ

第十四條 國民兵ハ本籍地ニ於テ召集セラル、モノトス

第十五條 召集區域内ニ於テ其配賦人員ヲ充足シ能ハサルトキハ直ニ其旨ヲ郡長ニ在テハ郡長ヨリ大隊區司令官ニ通報シ町村長ニ在テハ町村長ヨリ郡長ニ報告スヘシ

第十六條 志願ニ由リ國民軍ノ幹部ニ充テラレタルハ集合地ヲ經ス直ニ召集地ニ赴カシムルモノトス

第十七條 召集規則第十二條第一項ニ違背シタル者ヲ告發シタルトキハ直ニ其旨ヲ大隊區司令官ニ通報スヘシ

第十八條 召集規則第十二條第一項ノ届出ヲ爲シタル後其事故止ミタル者アルトキハ町村長ハ直ニ其旨ヲ大隊區司令官ニ報告シ命ヲ待タシムヘシ

前項ノ報告ヲ爲ストキハ同時ニ其旨ヲ郡長ニ報告スヘシ

第十九條 集落地ニ於テ身體検査ヲ受ケ不合格ニ屬シタル者ト雖モ成規ノ年齡迄ハ仍ホ召集名簿

及人員表ニ据置クヘシ

第二十條 明治二十年^三本縣令第九十六號陸軍召集事務細則第二章ノ條項ハ召集規則及本則ニ予

盾セサルモノハ之ヲ準用ス

第二十一條 國民軍編入志願者中退役准士官以上ノ者ノ志願書ハ直接大隊區司令官ニ差出サシメ

元下十以下ノ者ニ在テハ町村長ニ於テ其志願書ニ奥書證印ヲ爲シ郡長ヲ經テ大隊區司令官ニ差

出サシムヘシ

第二十二條 召集規則第二十條ノ旅費ノ算出ハ充員召集若クハ後備軍召集ニ應スル者ノ支給法ト

異ナルコトナシ

第一様式

(國民兵第一種召集名簿)

國民兵第一種召集名簿
步兵科ノ部
集落地何地

住	所	事	由	種	類	氏名	誕生
何	町	退役	明治何年月日	退役步兵大尉	何	何	何年某月生
何	村	退役	明治何年月日	退役步兵少尉	何	何	何年某月生
何	町	後備滿期	明治何年月日	元步兵曹長	何	何	何年某月生

何 村	明治何年月日 後備満期	元歩兵一等軍曹	何 某 何年月生
何 町	明治何年月日 後備役満期	元歩兵一等卒	何 某 何年月生
何 村	明治何年月日 後備役満期	元歩兵一等喇 叭手	何 某 何年月生

- 一 本簿ハ加除ニ便ナラシムル爲メ刺札ト爲シ用紙ハ成ルヘク同紙ヲ用フヘシ第二様式亦同シ
- 二 將校、准士官及元下士、兵卒、職工トノ間ニ相當ノ餘白ヲ存シ之ヲ區分スヘシ
- 三 生年月ハ朱記スヘシ第二様式亦同シ
- 四 國民軍編入ノ許可ヲ受ケタル者ハ朱記シ事由區畫ニ「何年月日國民軍編入許可」ト記スヘシ
- 五 士官若クハ下士適任證書ヲ所持スル者ハ事由區畫ニ其旨ヲ朱記スヘシ
- 六 騎、砲、工、輜重兵科及衛生部軍吏部獸醫部ニ本様式ニ準シ之ヲ作ルヘシ但蹄鐵衛若クハ電信通信衛同建外衛卒業者等ハ事由區畫ニ各其旨ヲ朱記スヘシ

第二様式

(國民兵第二種召集名簿)

國民兵 第二種 召集名簿	集合地 何地	住所 事由 氏名 誕生	何 町 明治何年月日 豫備員満期	何 某 何年月生
--------------	--------	-------------	------------------------	-------------

何 町	明治何年月日 第二補充兵満期	何 年 月 某 生
何 村	明治何年月日 豫徴員満期	何 年 月 某 生
何 村	明治何年月日 豫徴員満期	何 年 月 某 生

一 追加ニ便ナラシムル爲メ生年月ノ異ナル毎ニ相當ノ餘白ヲ存スヘシ但郡ニ在テハ仍ホ
甲町村同年月生ノ者ト乙町村同年月生ノ者トノ間ニ餘白ヲ存スヘシ

第三様式 (國民兵第一種人員表)

明治何年度國民兵第一種歩兵科人員表

考 備	計	町村名	大佐	中佐	少佐	大尉	中尉	少尉	官士	元曹長	元一等曹	元二等曹	元上等兵	元二等兵	元隊手	計

一 騎、砲、工、輜重兵科及衛生部軍吏部獸醫部モ本様式ニ準シ之ヲ作リ蹄鐵術若クハ電信通信術同建銃術卓業者等ハ各其區畫ヲ設ケ之ヲ區別スヘシ

二 國民軍編入ノ許可ヲ受ケタル者若クハ士官、下士適任證書ヲ所持スル者ハ朱書ヲ以テ之ヲ區別シ備考ニ其行ヲ記載スヘシ

三 種別ノ區畫ハ實際ニ就キ適宜變更スヘシ

第四様式 (國民兵第二第三第四種人員表)

明治何年度國民兵第二第三第四種人員表

計	町村之別			
	第一種	第二種	第三種	第四種

第五様式

(召集令傳達書)

國民兵召集令傳達書

用紙半紙洋紙

滋賀縣何郡何町(村)大字何第何番屋敷

退役陸軍歩兵大尉(或ハ何) 何

右國民軍幹部トシテ召集ヲ命セラレ候條大阪召集地城南練兵場ニ參集セラルヘシ

但特費ハ召集地ニ於テ支給セラル

明治何年月日

何町(村)長

何

某印

○滋賀縣訓令第四十七號

郡役所

明治二十五年^{十一月} 滋賀縣訓令第二百三十一號學事年報取調條項及諸表様式左ノ通改正ス

但明治二十五年^{十一月} 滋賀縣訓令第二百二十六號ヲ廢ス

學事年報取調條項

滋賀縣知事 大越 亨

一郡内學事ノ狀況

學事施設ノ要領及學事ノ現状ヲ概記スヘシ

一學齡兒童

就學ニ關スル規則施行ノ狀況及表式ニ示ス事項ノ計數増減ノ事由等ヲ記述スヘシ

一小學校

公立學校ノ校數位置設備等適否ノ狀況、修業年限等級編制ニ關スル狀況、私立學校ノ代用補習

科專修科ノ狀況、生徒學業ノ進否學校衛生ノ狀況、教員ノ需用供給及待遇ノ狀況、其他表式ニ

示ス事項ノ計數増減ノ事由等ヲ記述スヘシ

一徒弟學校

一實業補習學校

一言囀學校

學科ノ適否、授業ノ狀況、生徒學業ノ進否、生徒卒業後ノ狀況、其他表式ニ示ス事項ノ計數増

減ノ事由等ヲ記述スヘシ

一幼稚園

保母ノ資格、保育ノ狀況、其他表式ニ示ス事項ノ計數増減ノ事由等ヲ記述スヘシ

一高等女學校

學校ノ設備、生徒養成及修業年限ニ關スル狀況、生徒學業ノ進否、入學者、^{退學、教育}中途退學者

ニ關スル狀況、生徒ノ健康ニ關スル狀況、生徒卒業後ノ狀況、技藝專修科補習科ノ狀況、其他

表式ニ示ス事項ノ計數増減ノ事由等ヲ記述スヘシ

一技藝學校

學校ノ設備、教員ノ資格、入學者ノ資格、授業ノ狀況、生徒學業ノ進否、卒業後ノ狀況、其他

表式ニ示ス事項ノ計數増減ノ事由等ヲ記述スヘシ

一 各種學校
 學校ノ設備、教員ノ資格、授業ノ状況、生徒學業ノ進否、其他表式ニ示ス事項ノ計數増減ノ事由等ヲ記述スヘシ

一 教科用圖書
 教科用圖書ノ適否、需用供給ノ關係、其他教科用圖書ニ係ル状況ヲ記述スヘシ

一 町村會
 學事ニ係ル議事ノ梗概ヲ記述スヘシ

一 教育會
 組織並事業ノ梗概ヲ記述スヘシ

一 學事關係職員
 學務擔任郡吏、町村長、學務委員等ニ關係職員ノ事務ヲ指辨スル状況等ヲ記述シ及學務擔任郡吏等級別人員ヲ附記スヘシ

一 學事巡視及獎勵
 郡長及學務擔任郡吏等巡視ノ狀況^{可數、日、其他}及教員生徒等獎勵ノ要領ヲ記述スヘシ

一 將來學事備設上須要ノ件
 一 其他學事ニ付特ニ申報スヘキ事項アルトキハ適宜記述スヘシ

右諸項ハ曆年末ノ調査ニ依リ翌年二月十五日限申報スヘシ

一 公學費及資產
 公立學校等經濟ノ要領、授業料徴收ノ方法、寄附金等ノ狀況、學校基本財産積立ノ方法等總テ學校維持及經濟上ノ得失ニ係ル狀況其他表式ニ示ス事項ノ計數増減ノ事由等ヲ記述スヘシ

一 其他學事經濟上ニ付特ニ申報スヘキ事項アルトキハ適宜記述スヘシ

右諸項ハ會計年度末ノ調査ニ依リ翌年度七月十五日限申報スヘシ
 何郡學事年報甲號表

種別 學齡人員表 (明治何年)

種別	學 就 學 務 不 論 既													
	學 就										不 論 既			
	現在尋常小學科畢		本年卒業		前年以前卒業		合計		現在		不			
男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女			
合計												貧窮		
合計												貧窮		

員 歩通 就學義務ノ未タ生セ サル者	人											
	者						生ニ					
	者						就					
	合			學			就			未		
	計			計			計			計		
	女	男	計	女	男	計	女	男	計	女	男	計

何郡學事年報申號表

小學校表												種 別	合 就學義務ノ既ニ生シタル女 百人中就學	
校														
私立			公立			私立			公立					
高等	高等	高等	高等	高等	高等	高等	高等	高等	高等	高等	高等			

明治二十八年中訓令

入 尋 常	學											員			
	徒				生						立	私			
	專 修	高 等	補 習	高 等	高 等	補 習	尋 常	尋 常	尋 常	尋 常	尋 常	尋 常	尋 常	尋 常	
公	私	公	私	公	私	公	私	公	私	公	私	公	私	尋 常	尋 常
立	立	立	立	立	立	立	立	立	立	立	立	立	立	尋 常	尋 常
女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男

明治二十八年中訓令

教 准	科				員				科				本		
	員		教		正		員		教		准			員	
	立	公	立	私	立	公	立	私	立	公	立	私		立	私
高	尋	高	尋	高	尋	高	尋	高	尋	高	尋	高	尋	高	尋
等	常	等	常	等	常	等	常	等	常	等	常	等	常	等	常
女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男

習		補業工								業		
		校學		習		補		業		工		校學
學	校	卒業生		入學生		生徒		教員		學	卒業生	
		私	公	私	公	私	公	私	公		私	公
私立	公立	立	立	立	立	立	立	立	立	私立	公立	立
		女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女

習		實業農			校學弟						
		補業		農	卒業生		入學生		生徒		
入學生	校	生徒		教員	學	卒業生		入學生		生徒	
		私	公	私	公	私	公	私	公	私	公
私立	公立	立	立	立	立	私立	公立	立	立	立	立
		女	男	女	男	女	男	女	男	女	男

生 通 普		盲 教 員		校 學 習 補 業 商															
				卒業生		入學生		生徒		教員		業		商					
				私	公	私	公	私	公	私	公	私	公	私	公				
				立	立	立	立	立	立	立	立	立	立	立	立				
女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男

校 學													
業 卒						徒							
藝 技		科 通 普		科 藝 技		科 藝 技		科 藝 技		科 藝 技			
私	立	公	立	私	立	公	立	私	立	公	立	私	
盲	啞	盲	啞	盲	啞	盲	啞	盲	啞	盲	啞	盲	
生	生	生	生	生	生	生	生	生	生	生	生	生	
女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男

高等學校		幼稚園							
正教員	種別		保育滿期		幼稚園		保母		私立 生 女男
	私立	公立	私立	公立	私立	公立	私立	公立	
	女	男	女	男	女	男	女	男	

何郡學事年報申號表
四 高等女學校技藝學校各種學校表
(明治何年)

高等女學校													
技藝專修科	本 科	補 習 科	技藝專修科	本 科	補 習 科	技藝專修科	本 科	補 習 科	技藝專修科	本 科	補 習 科	准教員	
												私立	公立
												女	男

按												生 補 習 科														
農			學			農			校	私 立	公 立															
生 徒	教 員		學 徒		教 員		學 徒	校																		
私 立	公 立	私 立	公 立	私 立	公 立	私 立	公 立	私 立	公 立	私 立	公 立															
女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	

學												生 徒														
業			校			業			工				校	私 立	公 立											
教 員		學	卒 業 生		生 徒		教 員		學		卒 業 生															
公 立	私 立	公 立	私 立	公 立	私 立	公 立	私 立	公 立	私 立	公 立	私 立		公 立	私 立	公 立	私 立	公 立									
女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	

種		尋常中學 = 各類學校								各類學校							
他 教 員	其 學 校	卒業生				生徒				教 員		學		卒業生		生徒	
		私立		公立		私立		公立		私	公	私	公	私	公	私	公
		女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男

各 類 = 校學小		校 學 業 商 易 簡								校 學							
他 教 員	其 學 校	卒業生				生徒				教 員		學		卒業生			
		私立		公立		私立		公立		私	公	私	公	私	公	私	
		女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	

校	校 學 種 各ノ					
	卒業生		生徒			
	私立	公立	私立	公立	私立	
合計	女	男	女	男	女	男

何郡學事年報甲號表

五 町村立小學校生徒學年別表 (明治何年)

校 名	正 教 科 生		補 習 科 生		一 專 修 科 生	
	一年	二年	三年	四年	一年	二年
合計	女	男	女	男	女	男

何郡學事年報甲號表

六 學齡兒童就學猶豫及免除人員表 (明治何年)

町 村 名	本 籍	計 除									
		一	二	三	四	五	六	七	八	九	十
合計	合計	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男

何郡學事年報乙號表

一 町村立小學校教員俸給別表 (明治何年)

種 別	五 圓 未 滿	町 村 名											
		本 尋		常 高		本 尋		常 高		本 尋		常 高	
		正 教 員	准 教 員	正 教 員	准 教 員	正 教 員	准 教 員	正 教 員	准 教 員	正 教 員	准 教 員	正 教 員	准 教 員
合計	合計	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男

年 末 月 俸 額 總 計	平 均 額	最 寡 月 額	最 多 月 額	員 人 別 俸 月															
				合 計	四 十 圓 以 上	三 十 五 圓 未 滿	三 十 圓 未 滿	二 十 五 圓 未 滿	二 十 圓 未 滿	十 五 圓 未 滿	十 圓 未 滿	五 圓 未 滿	五 圓 以 上	十 圓 以 上	十 五 圓 以 上				
女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男

何郡學事年報乙號表

二 町村立小學校生徒授業料月額並不徴收及免除表

(明治何年)

種 別	最 多 月 額	最 寡 月 額	平 均 額	年 末 俸 總 計	同 上 二 對 應 生 徒 總 數	學 校 生 徒	授 業 料 不 徴 收	授 業 料 免 除 生 徒
							學 校 生 徒	全 額 免 除

何郡學事年報乙號表

三 町村立小學校教員年齡別表

(明治何年)

種 別	二 十 年 未 滿	二 十 五 年 未 滿	三 十 年 未 滿	三 十 五 年 未 滿	四 十 年 未 滿	計	師 範 學 校 卒 業 生	師 範 學 校 卒 業 生 ニ ア ラ ザ ル 者	合 計
							正 教 員	准 教 員	
男									
女									
男									
女									
男									
女									
男									
女									
男									
女									
男									
女									
男									
女									
男									
女									
男									
女									

何郡學事年報乙號表

四 公立學校職員在職年數表

(明治何年)

種別	滿四十年以上		滿三十五年以上		滿三十年以上		滿二十五年以上		滿二十一年以上		滿十六年以上		滿十一年以上		滿五年以上		滿一年以上		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
	市町村立小學校	市町村立中等學校	市町村立實業學校	公立高等女學校	公立技藝學校	其他ノ公立學校	市長	正教員	校長	正教員	校長	正教員	校長	正教員	合計	合計	合計	合計	合計	合計
市町村立小學校																				
市町村立中等學校																				
市町村立實業學校																				
公立高等女學校																				
公立技藝學校																				
其他ノ公立學校																				
市長																				
正教員																				
合計																				

何郡學事年報乙號表

五 町村學務委員表

(明治何年)

町村名	學務委員數		當選者		加ハル者		當選者		加ハル者		小		計		當選者		加ハル者		小		計			
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
町村名																								
合計																								

何郡學事年報乙號表

六 町村立小學校教員資格種別表

(明治何年)

町村名	學務委員數		當選者		加ハル者		當選者		加ハル者		小		計		當選者		加ハル者		小		計			
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
町村名																								
合計																								

校名	本		科		教		員		專		科		教		員	
	正	准	正	准	正	准	正	准	正	准	正	准	正	准	正	准
合計	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男

何郡學事年報乙號表

七 町村立小學校一ヶ月授業料等差人員表

種別	合計	
	高	尋
未滿二錢		
未滿五錢		
未滿七錢		
未滿十錢		
未滿十五錢		
未滿二十錢		
二十五錢未滿		
三十錢未滿		
三十錢以上		
計		

(明治何年)

何郡學事年報丙號表

一 公私立諸學校小學校ヲ除ク

名稱	町村立 區別	位町 置村	創立 年月	學科	修業 年限	級內 人數	級外 人數	生徒 總數	創立 前年	本年 畢業生	一箇年 授業料總額	一箇年 經費總額	學校 長氏名

(明治何年)

何郡學事年報丙號表

二 公立私立幼稚園表

名稱	町村立 區別	位町 置村	創立 年月	保育 年限	組數	保姆	幼兒 男女	本年 保育 滿期 男女	一箇年 保育料總額	一箇年 經費總額	幼稚 園主 任者氏名

(明治何年)

何郡學事年報丙號表

三 町村立小學校表

(明治何年)

校名 所在町村 大字名	創立 年月年 限	學級	生徒		徒		卒業		校長氏名
			正教科	補習科	正教科	補習科	正教科	補習科	
付リ									
裁縫 手工ヲ加フル學校									
裁縫 手工ヲ加フル學校									
合計									

種別	合計	正教科	補習科	合計	正教科	補習科	合計
手工ヲ加フル學校							
農業ヲ加フル學校							
商業ヲ加フル學校							
手工農業ヲ加フル學校							
手工商業ヲ加フル學校							
農業商業ヲ加フル學校							
手工農業商業ヲ加フル學校							
合計							

四 滿六年以上ニシテ自己ノ氏名ヲ記シ得ル者ト得サル者トノ區別表

(明治何年)

種別	記シ得ル者	記シ得サル者	合計
男			
女			
合計			

合計

右甲號乙號丙號表ハ曆年末ノ調査ニ依リ翌年二月十五日限り差出スヘシ
何郡學事年報丁號表

一 公學費表

(明治何年度)

種別	小		高等	徒弟	實業補習學校	高等	技藝	各種	幼稚園	其他	總計
	尋常	高等									
學校長俸給											
補助助教訓練俸給											
舍監俸給											
書記俸給											
准教員俸給											
雇教員俸給											
保姆俸給											
諸給料											

旅費	雜給	生徒給費	借地借家費	圖書器械標本費	器具費	消耗品費	新營費	修繕費	其他ノ諸費	合計	收			
											授業料	保育料	寄附金	

七 町村立小學校費收入金内譯表

(明治何年度)

種別	種別		業科	町村稅補助費計
	授	業科		
尋常小學校	■		■	
高等小學校				
尋常小學校				
高等小學校				
合計				

何郡學事年報丁號表

八 町村立小學校費内譯表

(明治何年度)

校名	種別		新築	改築	築増	築敷地買入	計
	種別	種別					
町村立小學校	■						
合計							

右丁號表ハ會計年度末ノ調査ニ依リ翌年度七月十五日限リ差出スヘシ

學事年報諸表樣式說明

甲 號表

一 學齡人員表

學齡人員ハ本籍ト寄留トヲ問ハズ總テ年末ニ於ケル現住人ノ内年齢六歳一月ヨリ滿十四歳マテノ兒童ノ數ヲ掲クヘシ但年齢ハ月ヲ以テ計算ス

就學義務ノ既ニ生シタル者ハ學齡人員ノ内其年學年ノ初月ニ於テ六歳一月以上ノ年齢ニ在ル兒童ノ數ヲ掲クヘシ

現在尋常小學校就學ハ現ニ尋常小學校ノ教科補習科ヲ除クヲ修ムル者ノ年末現員ヲ掲クヘシ現在不就學ハ未ダ尋常小學校ノ教科ヲ卒業シテ半途ニシテ就學ヲ止メ現ニ就學セサル者ヲ掲クヘシ又學籍ニ在リモ年内全ク出席セサル者ハ茲ニ計入スヘシ

未就學ハ就學義務ノ生シタル以來未ダ全ク就學セサル者ヲ掲クヘシ

就學義務ノ未ダ生セサル者ハ學齡人員ノ内其年學年ノ初月ニ於テ未ダ六歳一月ノ年齢ニ達セサル兒童ノ數ヲ掲クヘシ

歩合ノ計算ハ單位以下厘位ニ止メ四捨五入スヘシ

二 小學校表

學校ハ年末現在ノ數ヲ掲ク分校分教場ノ含ム以下之ニ同シ但單ニ設備上ノ都合ニアルトキハ尋常若クハ

高等ノ全科ヲ設クルモノト其一部ヲ設クルモノトヲ區別シ適宜ノ符號ヲ以テ掲クヘシ又補習科專修科ヲ設クルモノハ(補)又ハ(專)ノ符號ヲ以テ之ヲ示スヘシ

教員ハ年末ノ在職人員ヲ掲ケ其尋常高等併置學校ノ教員ニシテ受持兩科ニ涉ル者ハ受持時間ノ多キ方ニ掲ケ其時間數同シキトキハ高等ノ方ニ掲クヘシ公立學校教員ニシテ他ノ公立學校教員ヨリ兼ヌル者ハ其兼務ノ方ハ朱書ヲ以テ掲クヘシ又准教員ニシテ一時正教員ニ代勤セル者ハ准教員ノ欄ニ記入シ其他雇員ヲ使用スルモノアルトキハ准教員ノ欄ニ於テ適宜ノ符號ヲ以テ區別シテ掲クヘシ

生徒ハ學籍ニ在ルモ年内全ク出席セサル者ヲ除キ年末現員ヲ掲クヘシ又學齡超過ノ者アルトキハ生徒ニ合算シ別ニ朱書ヲ以テ掲クヘシ

入學生ハ年内ニ於テ第一學年ニ入學シタル者ノ總數ヲ掲クヘシ

卒業生ハ年内ニ於テ卒業シタル者ノ總數ヲ掲クヘシ

日々出席生徒平均數ハ年内ニ於ケル日々ノ出席生徒數ヲ通算シ年内ニ於ケル授業ノ總日數ヲ以テ除シタル數ヲ掲クヘシ但補習科專修科ニ係ルモノハ計入セス又計算ハ單位以下單位ニ止メ四捨五入スヘシ

日々缺席生徒平均數ハ年内ニ於ケル日々ノ缺席生徒數ヲ通算シ年内ニ於ケル授業ノ總日數ヲ以テ除シタル數ヲ掲クヘシ但補習科專修科ニ係ルモノハ計入セス又計算ハ單位以下單位ニ止メ四捨五入スヘシ

右小學校ノ各項計數中ニハ尋常師範學校附屬小學校ニ係ルモノハ計入セス

三 徒弟學校、實業補習學校、盲啞學校、幼稚園表

徒弟學校
實業補習學校

學校、教員、生徒、入學生、卒業生等ニ於テ小學校ノ例ニ準シテ掲クヘシ但教員ハ徒弟學校規程第十條實業補習學校規程第十一條ニ依テサレモノアルトキハ適宜ノ符號ヲ以テ區別シテ掲クヘシ又農工商業中二科以上ヲ一校ニ併置シタル等ノ場合ニ在テハ主タル一方ニ於テ適宜ノ符號ヲ付シ掲クヘシ

盲啞學校
學校、教員、生徒、卒業生ハ總テ小學校ノ例ニ準シテ掲クヘシ但生徒中普通及技藝ノ兩科ヲ修ムル者ハ主タル一方ニ於テ適宜ノ符號ヲ付シ掲クヘシ卒業生モ亦之ニ同シ

幼稚園
園、保姆、幼兒、保育滿期ハ小學校ノ例ニ準シテ掲ケ助手ノ類ヲ使用スルモノアルトキハ保姆ノ欄ニ於テ適宜ノ符號ヲ以テ區別シテ掲クヘシ又幼稚科ハ幼稚園トシテ計入スヘシ

四 高等女學校、技藝學校、各種學校表

高等女學校
學校、生徒、入學生、卒業生ハ小學校ノ例ニ準シテ掲クヘシ入學志願者ハ年内ニ於ケル第一學年入學出願者ノ總數掲クヘシ

教員ハ年末ノ在職人員ヲ掲ケ其正教員ハ公立學校ニ就キテハ教諭助教諭私立學校ニ就キテハ免許狀ヲ有スルモノヲ掲クヘシ准教員ハ總テ其他ノ教員ヲ掲クヘシ但公立學校教員中他ノ公立學校教員ヨリ兼ヌル者アルトキハ其數ハ朱書ヲ以テ掲クヘシ

技藝學校
學校、生徒、卒業生ハ小學校ノ例ニ準シテ教員ハ公立學校ニ就キテハ雇員ヲ區別シ私立學校ニ就キテハ助手ノ類ヲ區別シ適宜ノ符號ヲ付シ掲クヘシ但公立學校教員中他ノ公立學校教員ヨリ兼ヌル者アルトキハ其數ハ朱書ヲ以テ掲クヘシ

各種學校

小學校ニ類スル各種學校ハ學校ノ目的及學科程度等略々小學校ニ準スヘキモノ尋常中學校ニ類スル各種學校ハ學校ノ目的及學科程度等略々尋常中學校又ハ高等女學校ニ準スヘキモノヲ以テ之ヲ區別シテ掲ケ其他ノ各種學校ハ小學校尋常中學校又ハ高等女學校ニモ類セス又專門學校技藝學校等ニモアラサル學校ヲ掲ケヘシ

學校生徒卒業生ハ小學校ノ例ニ準シ教員ハ技藝學校ノ例ニ準シテ掲ケヘシ

五 町村立小學校生徒學年別表

生徒ハ小學校表ニ準シテ掲ケヘシ

六 年輪兒童就學猶豫及免除人員表

本年ノ欄ハ其年ニ於テ處分シタルモノヲ掲ケ二ヶ年ノ欄ハ前年ニ於テ處分シ尙引續本年ニ於テモ處分シタルモノヲ掲ケ三ヶ年以上ノ欄ハ前々年迄ニ處分シ尙引續前年及本年ニ於テモ處分シタルモノヲ掲ケヘシ

乙號表

一 公立小學校教員俸給別表

教員ハ尋常高等併置學校ノ教員ニシテ受持兩科ニ涉ル者ハ受持時間ノ多キ方ニ掲ケ其時間數同キトキハ高等ノ方ニ掲ケヘシ

月俸別ノ欄ハ年末ノ現員ニ就キ掲ケヘシ

最多月額、最寡月額ハ年末ニ於ケル各教員ノ月俸中最多額及最寡額ヲ掲ケ其平均額ハ年末ニ於ケル各教員ニ對スル月俸ノ總額ヲ其教員數ヲ以テ除シタル額ヲ掲ケヘシ

雇教員ニ係ルモノハ月俸別ノ欄ニハ准教員ノ部ニ於テ適宜ノ符號ヲ以テ區別シテ掲ケ最多月額以下ノ欄ニハ計入セス

二 公立小學校生徒授業料月額并不徴收及免除表

授業料最多月額、最寡月額ハ前表ノ例ニ準シ其平均額ハ年末ニ於ケル各生徒ノ授業料月額總計ヲ其生徒數ヲ以テ除シタル額ヲ掲ケヘシ但一部免除ノ者ノ授業料モ計入スヘシ

授業料不徴收學校ノ部ニハ學校生徒ノ全員又ハ或學級ノ生徒ノ授業料ヲ徴收セサル學校數ヲ掲ケ生徒ノ部ニハ同上授業料ヲ徴收セラレサル生徒ノ年末現員ヲ掲ケヘシ

授業料免除生徒ハ兒童保護者貧窮ノ爲授業料ヲ免除セラレタル生徒ノ年末現員ヲ掲ケヘシ

三 公立小學校教員年輪別表

本表中師範學校卒業生ハ尋常師範學校卒業生ハ勿論其他曾テ師範學校(初等又ハ中等トモ)ヲ卒業シタル者ヲ掲ケヘシ但雇教員ハ計入セス

四 公立學校職員在職年數表

在職年數ハ現職休職ニ拘ハラス年末ニ於ケル當該學校所屬職員ニ就キ明治二十五年勅令第十七號同第十八號ノ例ニ依リ計算シテ掲ケヘシ

徒弟學校、實業補習學校、技藝學校及其他ノ公立學校ノ正教員ハ小學校等ノ例ニ準シ教諭助教諭訓導ノ職ニアル者ヲ掲ケヘシ

俸給年額總計ハ年末ニ於ケル各職員ノ俸給月額ヲ一箇年ニ積算シタル額ヲ掲ケヘシ但休職者ニ係ルモノハ其在職最終ノ月ニ於ケル俸給額ヲ積算シテ計入スヘシ

五 町村學務委員表

報酬、職務取扱費ハ當該年度ノ豫算額ヲ掲ケヘシ

六 町村立小學校教員資格種別表

教員ノ資格ハ現ニ所有スル免許狀ノ最高ノモノニ依リテ掲ケヘシ

尋常高等併置ノ小學校ニ於ケル雇教員ハ其尋常科ナルト高等科ナルト適宜ノ符號ヲ以テ區別

別スヘシ

七 町村立小學校一ヶ月授業料等差人員表

一ヶ月ニ納ムル所ノ授業料ノ等差ニ從ヒ其人員ヲ掲クヘシ但乙號ニ表第六欄「同上」ニ對スル生徒總數ト符合スルヲ要ス

丙號表

一 公私立諸學校小學校表

本表各校各別ニ掲クルモノトシ一學校ニシテ本校、分校、附屬學校等ノ區分アルモノハ亦格別ニ掲クヘシ
學科ハ技藝學校ニ在リテハ二種以上ノ學科課程ノ設ケアルモノハ各別ニ之ヲ掲クヘシ又各種學校ニ在リテハ其授クル學科目ヲ列記スヘシ但五科目以上ヲ授クルモノハ其重モナル五科目ヲ掲ケ其他ハ外幾科目ト付記スヘシ
教員、生徒、卒業生ハ甲號表ノ例ニ準シテ掲クヘシ但教員中外國人ハ其國名ヲ付記スヘシ
授業料及經費ハ私立學校ニ係ルモノ、ミテ掲ケ公立學校ニ係ルモノハ會計年度ニ依リ別ニ公學費ノ調査アルヲ以テ之ヲ掲クルヲ要セス
學校長ノ欄ニハ學校長ヲ置カサル學校ニ就キテハ首席教員ヲ掲ケ適宜ノ符號ヲ以テ學校長ト區別スヘシ

二 公私立幼稚園表

幼稚園ハ年末現在ノ幼稚園ヲ掲ケ小學校ノ附屬幼稚園并ニ幼稚科ヲモ綴テ之ヲ掲クヘシ但附屬幼稚園并ニ幼稚科ニシテ其名稱ニ依リ他ノ幼稚園トノ區別ヲ知り難キモノハ適宜ノ符號ヲ以テ區別シテ掲クヘシ
保育料及經費ハ前表ノ例ニ準シ私立ニ係ルモノ、ミテ掲クヘシ

三 町村立小學校表

分教場ノ設ケアルモノハ本校ト併列シテ各別ニ掲クヘシ
創立年月ハ學制改正等ノ爲メ其組織ヲ變更シ若クハ位置名稱ヲ改メタルモノ、如キハ渾テ初メテ其學校ヲ設立シタル時ノ年月ヲ掲クヘシ又町村經濟等ノ都合ニ依リ二校以上ヲ合併シテ一校トナシタルモノハ其主ナル學校ノ創立年月ヲ掲クヘシ但一校ヲ分テ二校以上トナシタルモノハ其分設ノモノニ就キテハ其分設セシ時ノ年月ヲ掲クヘシ分教場亦同シ
生徒及卒業生ノ中學論超過ノ者アルトキハ生徒及卒業生ニ合算シ其數ハ朱書ヲ以テ別ニ掲クヘシ
創立ヨリ前年迄ノ卒業生ハ從前ノ初等科若クハ簡易科卒業生モ共ニ尋常科卒業生ニ合算シテ掲クヘシ
町村立私立徒弟學校、實業補習學校及專科ヲ以テ正教科ニ代フル尋常高等併置小學校ノ高等科、高等小學校並私立尋常(尋常)高等(高等)小學校アルトキハ本表ニ準シ各種ノ表ヲ製シテ添付スヘシ但私立各學校ニアリテハ補習科卒業生ノ欄ノ下ヘ(一ヶ月授業料總額)(一ヶ月經費總額)ノ二欄ヲ設ケテ其金額ヲ掲クヘシ
學校長ノ欄ニハ學校長ヲ置カサル學校ニ就キテハ首席教員ヲ掲ケ適宜ノ符號ヲ以テ學校長ト區別スヘシ
裁縫、手工、農業、商業ノ加設學科名ノ合計ハ之ヲ要セス且該科ノ加設ハ正教科、補習科、專修科ノ別ヲ適宜ノ符號ヲ以テ區別スヘシ付表ハ尋常小學校及高等小學校ノ部ニハ尋常高等併置小學校ニ係ルモノモ尋常高等ニ分チテ掲ケ又裁縫ヲ加フル學校及裁縫、手工ヲ加フル學校ハ尋常小學校ニ限リ掲クヘシ

丁號表

一 公學費表

學校、幼稚園等ニシテ他ノ學校ノ附屬ニ係ルモノハ總テ之本校ノ部ニ計入スヘシ
 幼稚園ノ下「其他」ノ部ニハ教員講習、學務委員ニ關スルモノ、如キ學校、幼稚園ノ各部ニ屬
 セサルモノヲ掲ケ且此部ノ費額ハ表末ノ餘白ニ於テ別ニ其種類ヲ分チ各總額ヲ列記スヘシ
 學校長俸給以下諸費目ハ年度内ニ於テ支出シタル總額ヲ掲ケ其收入ノ諸目モ年度内ニ於テ收
 入シタル總額ヲ掲クヘシ
 保姆俸給ニハ保姆俸給ト助手ノ類ノ給料トヲ區別シテ掲クヘシ
 諸給料ハ事務雇員手工農業等ニ關スル職工農夫及小使門番等ノ給料ヲ掲クヘシ
 雜給ハ臨時使役ノ人夫賃等ヲ掲クヘシ
 生徒給費ハ生徒ニ給シタル學資金額ヲ掲クヘシ貸費金額モ區別シテ本欄ニ掲クヘシ
 圖書器械標本費ノ内器械標本費ハ教授用ノ器械標本費ノ費額ヲ掲クヘシ
 器具費ハ前項ノ器械標本ニ屬セサル雜品器具ノ費額ヲ掲クヘシ
 消耗品費ハ筆紙墨薪炭油及教授用ノ藥品材料等ノ費額ヲ掲クヘシ
 新營費ノ内ニハ敷地買入代ヲモ計入スヘシ
 其他ノ諸費ハ前種別ノ欄ニ入ラサル總テノ費額ヲ掲ケ恩給ニ關スル町村ノ納金亦茲ニ計入ス
 收入ノ部ニハ米穀又ハ其他ノ物品等ニシテ金額ニ換算シテ決算シタルモノハ總テ之ニ計入ス
 ヘシ

二 公學資産表

本表ハ附屬學校ニ係ルモノモ前表ニ準シテ掲クヘシ幼稚園ノ下「其他」トアルモノ亦同シ
 敷地、附屬地及家屋坪數ハ年度末ニ於ケル各坪數ヲ掲ケ其家屋ノ二階三階等ノ坪數ハ平家坪

數ニ合算シテ掲クヘシ

土地、家屋、圖書、器械標本、器具ノ價額ハ年度末ニ於ケル時價ヲ調査シテ掲クヘシ

學校基本財産中前種別ノモノト重複スルモノハ適宜ノ符號ヲ以テ其額ヲ示スヘシ又金額ノ内

ニハ公債證書其他ノ有價證券モ其時價ヲ以テ計入スヘシ

三 公立諸學校（小學校、幼稚園）經費表

本表ハ丙號公立諸學校表ノ例ニ準シ各校園各別ニ掲クルモノトシ其收入ニ關スルモノハ公

學費表ノ例ニ準シテ掲クヘシ

五 町村立學校基本財産內譯表

本表ハ小學校、徒弟學校、實業補習學校、高等女學校、技藝學校、各種學校ヲ各校各別ニ掲

クヘシ

預金ハ大藏省主計局若クハ逓信省通信局ニ預入セシ金額ノ年度末ノ現在高、貸金ハ其他ハ貸

付セシ金額ノ年度末ノ現在高、學田、貸地、貸家ハ年度末ニ於ケル時價ヲ掲クヘシ

六 町村立學校基本財産ヨリ生スル收入金內譯表

各種ノ利子收入ハ年度内ニ於テ收入シタル總額ヲ掲クヘシ

七 町村立小學校費收入金內譯表

授業料ハ尋常高等併置小學校ニアリテハ尋常ト高等トヲ區別シテ掲クヘシ

基本財産其借收入ハ學校基本財産ヨリ生スル收入及寄附金雜收入ヲ掲クヘシ

町村稅ハ年度内ニ於テ支出シタル總金額ヨリ授業料、學校基本財産其他收入、補助費ヲ引去

八 町村立小學校新營費内譯表

各費共渾テ年度内ニ於テ支出シタル總金額ヲ掲クヘシ

〔參照〕 滋賀縣訓令第二百二十六號公立學校職員勤務年數年報及同能免勤務年數年報調査表調製差出期日ノ件(明治二十五年十二月三日公報)抄録

○滋賀縣訓令第四十八號

明治二十五年^{十二}滋賀縣訓令第二百三十二號學事年報取調條項及諸表樣式左ノ通改正ス

但明治二十五年^{十二}滋賀縣訓令第二百二十七號ヲ廢ス

明治二十八年十一月二十三日

滋賀縣知事 大越 亨

學事年報取調條項

一尋常師範學校

學校ノ設備、教員ノ資格、生徒養成ノ狀況、生徒學業ノ進否、入學者^{生徒ノ種別、從前}半途退學者^{教育、年齡等}ニ關スル狀況、生徒ノ健康ニ關スル狀況、豫備科、講習科ノ狀況、附屬小學校ノ設備、修業年限學級編制ニ關スル狀況、生徒學業ノ進否、學校衛生ノ狀況其他表式ニ示ス事項ノ計數増減ノ事由等ヲ記述スヘシ

一尋常中學校

學校ノ設備、教員ノ資格、生徒養成ノ狀況、生徒學業ノ進否、入學者^{生徒ノ種別、從前}半途退學者^{教育、年齡等}ニ關スル狀況、生徒ノ健康ニ關スル狀況、生徒卒業後ノ狀況、實科專修科ノ狀況其他表式ニ示ス事項ノ計數増減ノ事由等ヲ記述スヘシ

一商業學校

學校ノ設備、教員ノ資格、入學者^{生徒ノ種別、從前}半途退學者^{教育、年齡等}ニ關スル狀況、授業ノ狀況、生徒

學業ノ進否、生徒ノ健康ニ關スル狀況、生徒卒業後ノ狀況、豫科、研究科、專修生ノ狀況其他表式ニ示ス事項ノ計數増減ノ事由等ヲ記述スヘシ
一其他學事ニ付特ニ申報スヘキ事項アルトキハ適宜記述スヘシ
右諸項ハ曆年末ノ調査ニ依リ翌年二月十五日限リ申報スヘシ
一學費及資産
學校經濟ノ要領、授業料徴收ノ方法、資産ノ給否、其他表式ニ示ス事項ノ計數増減ノ事由等ヲ記述スヘシ
一其他學事經濟上ニ付特ニ申報スヘキ事項アルトキハ適宜記述スヘシ
右諸項ハ會計年度末ノ調査ニ依リ翌年度七月十五日限リ申報スヘシ

學事年報申覽表

滋賀縣尋常師範學校學事統計表

(明治何年)

本	創	年	月	日	立			
					本	豫	科	
					第一種講習科			
					第二種講習科			
					本	豫	科	
					第一種講習科			
					第二種講習科			
					本	豫	科	
					第一種講習科			
					第二種講習科			
					學	校	長	
					事	務	員	
					書	記		

明治二十八年申 訓令

附 屬 小													
卒		入學生		生徒				專教員		本教員		學級	
本年	高	尋常	尋常	高	尋常	高	尋常	高	尋常	高	尋常	高	尋常
	高	尋常	尋常	高	尋常	高	尋常	高	尋常	高	尋常	高	尋常
	等	補	習	等	修	等	習	等	常	等	常	等	常
	女	男	女	男	女	男	女	男					

六五

明治二十八年申 訓令

校																							
年	創	月	日	立	生 業 卒				入學生	志願者學				生徒	教員								
					送	立	前	年		本	年	本	年			本	年						
單	高	多	第	第	豫	本	第	第	豫	本	第	第	豫	本	第	第	豫	本	准	助	教	教	論
級	尋	尋	一	一	備	備	一	一	備	備	一	一	備	備	一	一	備	備	員	員	員	員	員
常	等	常	種	種	科	科	種	種	科	科	種	種	科	科	種	種	科	科					
			講	講			講	講			講	講			講	講							
			習	習			習	習			習	習			習	習							
			科	科			科	科			科	科			科	科							

六四

明治二十八年 訓令

年 月 日	創 立	滋賀縣商業學校學事統計表																					
		生業卒		入學		志入		生徒		教諭		學事年報甲號表											
		迄前年	創立ヨ	本年	本年	本年	本年	本年	本年	本年	本年	本年	本年	本年	本年	本年	本年						
專修生	研究生	豫科	本	專	實	本	專	實	本	專	實	本	專	實	本	專	實	本	專	實	本	准助教	助教
		科	科	科	科	科	科	科	科	科	科	科	科	科	科	科	科	科	科	科	科	員	諭

(明治何年)

明治二十八年 訓令

事 務 員	學 級	年 月 日	創 立	校																			
				平席日		平席日		生		業		迄前年		創立ヨ									
				均生	々	均生	々	高	高	尋	尋	高	高	尋	尋								
書記	學長	專修	本	專	實	本	專	實	本	專	實	本	專	實	本	專	實	本	專	實	本	高	高
		科	科	科	科	科	科	科	科	科	科	科	科	科	科	科	科	科	科	科	科	等	等
																						女	男

(明治何年)

一 縣立何學校學費表

圖書器械標本費	借地借家費	生徒給費	雜給	旅費	諸給料	准教員俸給	書記俸給	舍監俸給	訓導俸給	助教諭俸給	教諭俸給	學校長俸給

(明治何年度)

器具費	消耗品費	新營費	修繕費	國庫納金	其他ノ諸費	合計	收				合計	
							授業料	寄附金	雜收入	國庫補助		

學事年報丙號表

一一 縣立何學校資產表

商業學校

教員ハ年末ノ在職人員ヲ掲ケ其准教員ハ教諭助教諭ニアラサル教員(講師及雇外)ヲ掲クヘシ但
他ノ公立學校教員ヨリ兼マル者アルトキハ其數ハ朱書ヲ以テ掲クヘシ
生徒、卒業生ハ尋常師範學校附屬小學校ノ例ニ準シ入學生、入學志願者ハ尋常師範學校ノ例
ニ準シテ掲クヘシ

乙號表

縣立學校職員在職年數等表
在職年數ハ現職休職ニ拘ハラズ年末ニ於ケル學校長教諭助教諭訓導書記ニ就キ明治二十五年
勅令第十七號及明治二十七年滋賀縣令第七號ノ例ニ依リ計算シテ掲クヘシ
休職者ニ係ル俸給額ハ其在職最終ノ月ニ於ケル俸給額ヲ掲クヘシ

丙號表

縣立學校公學費表
學校長俸給以下諸費目ハ年度内ニ於テ支出シタル總額ヲ掲ケ其收入ノ諸目モ年度内ニ於テ計
入シタル總額ヲ掲クヘシ
諸給料ハ事務雇員手工農業等ニ關スル職工農夫及小使門番等ノ給料ヲ掲クヘシ
雜給ハ臨時使役ノ人夫賃等ヲ掲クヘシ
生徒給費ハ生徒ニ給シタル學資金額ヲ掲クヘシ
圖書器械標本費ノ内器械標本費ハ教授用ノ器械標本ノ費額ヲ掲クヘシ
器具費ハ前項ノ器械標本ニ關セザル雜品器具ノ費額ヲ掲クヘシ
消耗品費ハ筆紙墨新炭油及教授用ノ藥品材料等ノ費額ヲ掲クヘシ
新營費ノ内ニハ敷地買入代ヲモ計入スヘシ

○滋賀縣訓令第四十九號

〔參照〕滋賀縣訓令第二百二十七號縣立學校職員在職年數及年齡并罷免者在職年數等ノ表式調製差出方ノ件(明治二十五年十
二月三日公報抄録)

郡 役 所 警 察 署
警 察 分 署 町 村 役 場

虎列刺病赤痢病ハ時季ノ寒暖ニ關係スルニト頗ル大ナルヲ以テ寒冷ニ際シ一時衰退ノ勢ヲ呈シ殆
ソト終熄ノ狀ヲ見ルト同時ニ之カ防遏ノカモ亦漸ク方ニ疲レ爲メニ豫防上弛怠ノ措置アラソニハ
其餘藥ヲ明年ニ殘シ一大慘害ヲ來スヘキハ甚タ明ナリトス今ヤ病勢衰退シ將ニ終局ヲ告クルニ至
ラントスルノ機ニ乘シ患者發生ノ部落ハ消毒的清潔法ヲ施行シ以テ餘毒ノ撲滅ニ力ヲ盡シ又一般
町村ニ於テハ將來ニ對シ畫策スヘキ事項ヲ定メ豫防機關ノ整備避病院又ハ隔離室ノ設備及之カ保
存ノ方法其他諸般ノ施設ニ就キ其準備ヲ整ヘ苟モ遺策ナカラソトナ期スヘシ
明治二十八年十一月三十日 滋賀縣知事 大 越 亨

○滋賀縣訓令第五十號

部 署 收稅部監獄
警 察 署
町 村 役 場
郡 役 所
警 察 分 署

臨時檢疫部閉鎖ニ付檢疫ニ關スル殘務ハ警察部ニ於テ取扱ハシム
明治二十八年十一月三十日

滋賀縣知事 大越 亨

○滋賀縣訓令第五十一號

郡 役 所 町 村 役 場

本年十一月二十六日以來縣下滋賀郡膳所村ニ於テ俄然天然痘患者五名ヲ出シ内一名死亡セリ抑本病ハ寒冷ノ候ニ於テ發生シ當初一小局部ニ其病勢ヲ養ヒ漸次蔓延猖獗ヲ極ムルヲ常トス故ニ其未タ蔓延ノ甚シカラサルニ先チ豫防上嚴重ノ措置ヲ施シ之ヲ一小局部ニ撲滅セシムルノ策ヲ講シ又一般ニ種痘ノ普及ヲ謀リ以テ病毒浸襲ノ余地ナカラシムルハ最モ緊要ナルヲ以テ此際各町村ニ於テハ秋季種痘ヲ一層周密ニ施行シ初再三種ハ勿論種痘後多クノ歲月ヲ經タル者ニハ遺漏ナク接種セシメ而シテ接種後ノ檢疹ヲ町重ナラシメ若シ患者發生ノ場合ニ於テ之レカ豫防消毒ノ方法等嚴密周到ニ施行シ毫モ遺策ナキ様取計ヘシ

明治二十八年十二月四日

滋賀縣知事 大越 亨

○滋賀縣訓令第五十三號

郡 役 所

明治二十八年十一月十一日 滋賀縣訓令第四十七號學事年報諸表様式中式ノ通追加ス

明治二十八年十二月七日

滋賀縣知事 大越 亨

何郡學事年報丙號表

五 私立教育會表

(明治何年)

會 名	所在町村 大字名	會 員	役 員		雜 誌	發 行 高	納 入 金		支 出 金
			總 裁 會 長	副 會 長			會 費	寄 付 金	
合計									

何郡學事年報丙號表

六 私設裁縫教授場表

(明治何年)

名 稱	所在町村 大字名	開始年月	修業期限	教授ヲ受 クル者	修業了リタル者	本 年	業 料 總 額	教授者氏名
合計								

○滋賀縣訓令第五十四號

警察署 警察分署

明治二十六年^{十一月十一}本縣訓令第六十號巡查勤務並ニ監督規程第三條中外勤員ノ執務時間左ノ通改正ス

但本令ハ發布ノ日ヨリ施行ス

滋賀縣知事 大越 亨

三月一日ヨリ十月三十一日迄隔日勤務ノ署ハ午前七時出署翌日午前八時退署毎日勤務ノ署ハ午前七時出署午後四時退署
十一月一日ヨリ翌年二月末日迄隔日勤務ノ署ハ午前八時出署翌午前九時退署毎日勤務ノ署ハ午前八時出署午後四時退署

〔參照〕滋賀縣訓令第六十號巡查勤務并ニ監督規程(明治二十六年十一月十日)抄録

第三條 警察分署外勤員ノ執務時間左ノ如シ

一 四月二十日ヨリ九月十日マテ隔日勤務ノ署ハ午前七時出署翌日午前八時退署毎日勤務ノ署ハ午前七時出署午後四時退署

一 九月十一日ヨリ四月十九日マテ隔日勤務ノ署ハ午前八時出署翌日午前九時退署毎日勤務ノ署ハ午前八時出署午後五時退署

明治三十年三月一日印刷
明治三十年三月五日發行

印刷實費
金貳拾參錢

發行編輯
兼印刷者

滋賀縣栗太郡草津町大字草津第四百二十五番屋敷
福 島 耕

印刷所

滋賀縣栗太郡草津町大字草津第四百二十五番屋敷
福 島 刷 工 場

終

